

平成 29 年度 事業のあらまし



一般社団法人首都圏産業活性化協会
TAMA協会 Technology Advanced Metropolitan Area



平成29年度「事業のあらまし」発刊にあたり

首都圏産業活性化協会は、平成30年で設立20年を迎えました。

平成29年度は第四期5ヶ年計画の最終年度に当たります。これまでの実績を踏まえ、また、時代の動向や要請に的確に応えるために、平成30年4月からの新たな期を迎えるにあたって、協会の理念となる「ビジョン」「ミッション」を策定する年度でもありました。

第四期では、チャレンジしている企業100社を「TAMAブランド企業」として認定しました。また、国際的な競争力や事業拡大を目指す企業の海外展開を支援するために、欧米との連携、さらには、ASEAN・東アジアとの連携を推進しました。そして最終年度では、「TAMA-GNT企業」としてTAMAブランド企業100社の中から、ユニークな取り組みをおこなっている10社を認定いたしました。

ところで、20年前に、当協会の設立にあたって、「我が国産業発展の先導的役割を担う」というミッションを掲げました。そして今、「産学官金のネットワークで、地域活性化の役割を果たしてきた」と言いたいところですが、役割はまだ道半ばと考えています。これからの5年、10年で、地域産業発展の先導的役割を果たしたいと思えます。

時代の急速な変動と共に協会を取り巻く事業環境が大きく変化する中で、原点回帰とユニークな組織として生き残るための抜本的な改革が求められています。そのためには、「首都圏産業活性化協会は果たして世間の皆さまに応援していただける協会になっているのか」を全職員が常に問うことが重要だと考えています。

そしてこれからも、産学官金連携の先導的役割を果たすために、(1)メンバー・ファースト(会員第一)、(2)財政基盤の強化、(3)新たな産学官金連携によるイノベーション創出、を行ってまいります。

以上、皆様のご期待にお応えできるよう、職員一同鋭意努力いたす所存でございますので、何卒一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年吉日

一般社団法人首都圏産業活性化協会

会長 吉田 善一

目次

3	■ 第四期5ヵ年計画（平成25年～29年）の概要（事業の体系）
7	■ TAMAブランド化推進事業 TAMAブランド化推進事業 運営委員会の実施 第9回TAMA産学官金サミット TAMA-GNT企業
9	■ 中核企業創出支援事業 ネットワーク形成事業：「首都圏西部地域発信型、先端ものづくり中核企業創出支援ネットワーク形成事業」 ハンスオン支援事業：「世界最先端の試作・量産加工センター」サービスの展開 ハンスオン支援事業：「IoT普及促進活動」の展開
13	■ 産学連携・研究開発促進事業 地域イノベーション戦略推進事業 農工連携（東京農工大学、JA東京むさしとの連携） 研究開発支援事業（競争的資金獲得支援）
21	■ 販路開拓・海外展開支援事業 販路開拓・海外展開事例（八王子市海外経済交流促進事業） 国内での販路開拓支援 展示会マッチング促進支援（Linkers（株）からの受託事業）
24	■ 人材育成・人材確保支援事業 青梅市エリア女性・若年者就職アシスト事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
26	■ 大学との連携事業
28	■ 各種計画策定支援
29	■ 情報ネットワーク事業 ホームページによる情報提供 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供 データベースの整備とコーディネート活動支援システム TAMAコーディネータ制度
31	■ 地域交流会の開催
32	■ 地域との交流 自治体等との連携 国内支援機関等との交流
33	■ 20周年記念式典事業 設立20周年記念式典開催 設立20周年記念誌発行事業および協賛金募集事業
35	■ データでみるTAMAの軌跡と現状
37	■ 年表
38	■ 沿革

第四期5カ年計画(平成25年～29年)の概要(事業の体系)

第四期5カ年計画では、第三期のテーマである環境ものづくりを継承するとともに、地域の総力を結集した産学官金の連携によるものづくりの支援を行うというTAMA協会の原点に立ち返り、TAMAが日本や世界のものづくりをリードしていく存在となることを目指し活動を行いました。

これまで取り組んできた、地球環境への貢献を意識したものづくりの推進に加え、自然との調和のみならず、人、地域、世界との調和などを広く環境配慮と捉え、ものづくり産業が、地域と世界に調和しながら貢献していくことをこれからの課題として取り組みました。

このような活動を通じ、第四期では、日本や世界のものづくりをリードし、地域と世界の発展に貢献していくことを「TAMAブランド」として宣言するとともに、第四期5カ年計画のビジョン「TAMAエコクラスターの形成」を目指しました。

I 第四期5カ年 ビジョン／ミッション／数値目標

【 第四期 ビジョン 】

環境配慮ものづくりを推進し、TAMAエコクラスターを形成する

【 ミッション 】

産学官金が結集してイノベーションを起こしTAMA地域の産業経済を活性化する。
具体的には、TAMAブランドの確立（TAMAブランド宣言の実現）のため、グローバル連携によって、GNT企業を連続的に創出する

【 数値目標 】

①グローバル連携

(1) ローカル（国内）連携 : 200件

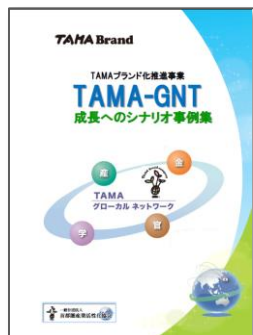
(2) グローバル（海外）連携 : 100件

②TAMAブランド企業：100社

③新規GNT企業：10社

【GNT企業の定義】

グローバルニッチトップ：グローバルニッチ市場において、トップシェアの技術・製品を保有する企業



TAMA-GNT事例集



産学官金サミットによる
TAMAブランド宣言の啓発啓蒙

II TAMAブランド宣言

グローバル化の加速、新興国の台頭、世界規模の経済危機、自然災害の多発、産業活動を背景とした地球環境破壊の進展など、世界の産業は、かつてないほど激動し、混沌としています。我が国の産業経済も、国内市場の縮小や為替相場の急展開、エネルギー問題等が加わり、さらに厳しい状況にあり、世界の中での日本の産業競争力は衰退の危機に直面しています。

また、人類の存続さえも危ぶまれる、産業活動などを背景とした地球環境破壊の問題も、世界の足並みが揃わず、なかなか解決の道筋が見えてきません。

しかし、我が国の基幹産業であるものづくりにとって、直面する多様な問題は、世界に先駆けてイノベーションを産み出す先進的な課題でもあり、世界的競争力をもつ新産業創出の原動力でもあります。

また、グローバル化の進展に伴い、産業活動における地域と世界との距離が大幅に短くなってきている現在は、世界に直接繋がって、世界の中の、自社にとっての最適市場で活躍できるチャンスでもあります。

このような中で、TAMAのポテンシャルは、グローバル市場で活躍し世界の産業経済に影響を持つ企業を産み出すことを通じて、新しい価値を創造し、活力ある地域づくりや我が国の産業競争力強化に貢献することが期待されています。

このため、TAMA協会は、日本や世界のものづくりをリードする取組みをTAMAブランドとして宣言し、会員の主体的な活動を促進するとともに、地域と世界の発展に貢献することをめざします。

- 1** TAMAに集積する幅広い分野の多様な要素技術間の連携によって、先端産業のイノベーションに貢献します【イノベーション志向】
- 2** 日本の経済・社会・文化・政治の中心地、東京に隣接する地域として、日本の各地方と首都圏、地方と世界を繋ぐ役割を担い、日本経済全体の活性化に貢献します【ローカル連携・グローバル連携の推進】
- 3** TAMA地域の多様な産業集積を活かした異分野異業種連携を推進して、つねに新しいものづくりを志向し、グローバルニッチ市場でトップシェアをめざす企業を産み出します【GNT企業の創出】
- 4** 武蔵野やさがみ野の面影を残す自然豊かなTAMA地域として、地球全体の喫緊の課題である環境問題の解決に率先して取り組み、世界にもものづくりクラスターの範を示すとともに、ものづくり産業と自然環境調和の実現をめざします【環境配慮ものづくり・エコクラスターの形成】
- 5** これらの取組みが自立的、発展的に行われるイノベーションエコクラスターの形成をめざします【ビジネスの自立循環・エコクラスターの形成】



TAMAブランド企業 顕彰事業 TAMAブランドの確立（TAMA グローカル連携によって

産学連携・研究開発支援

- ① 産学・企業間連携支援
- ② 研究開発支援
 - ・地域イノベーション戦略推進事業
 - ・製品技術連携スクエア事業
 - ・ものづくり連携支援（医療機器関連分野）
 - ・競争的資金の獲得支援
 - ・研究開発人材育成支援



ネットワークの増強

- ① ネットワークの強化・拡大・統合
 - ・TAMA産学官金サミットの開催
 - ・中核機関ネットワーク会議の実施（首都圏西部地域産業活性化連絡会議）（首都圏西部イノベーション推進協議会）
 - ・会員増強
 - ・広域（TAMA地域外）連携
 - ・海外支援機関・研究機関との連携

人材育成・人

- ① 人材育成支援
- ② 人材確保・定着支援
 - ・グローバル経営人材育成
 - ・企業の魅力発見・発信
 - ・インターンシップコーディネーター
 - ・就職説明会



ブランド宣言の実現) のため、 GNT企業を連続的に創出

TAMA産学官金 サミット

- 新製品
- 開発ニーズ



販路開拓・海外展開支援

- ① 販路開拓支援（ローカル連携推進）
- ② 海外展開支援（グローバル連携推進）
 - ビジネスフェアfromTAMA
 - 現地事務所の設置
 - ASEAN・東アジア・欧米
展開支援
 - 海外ビジネス研究会
 - 商談会・展示会出展支援



人材確保支援

成講座
プログラム
ディネート



組織体制・財政基盤強化

- ① 組織体制の強化
- ② 財政基盤の強化
 - 理事主導による事業運営
 - 3事業部制による事業運営
 - 受益者負担事業の拡充
 - 広域連携委託事業の受託
 - 管理法人業務の実施
 - 会費制度

TAMAブランド化推進事業

第四期5ヵ年計画において、広域多摩地域をはじめとする首都圏の中小企業の活性化と地域経済の発展を促進することを目的として、他の企業の模範となる優れた取組みを行う中小企業を表彰（ブランド企業顕彰事業）、地域内外に周知・発信（産学官金サミット）することにより、GNT（グローバルニッチトップ企業）を連続的に創出するTAMAブランド化推進事業を実施しました。

平成25年度～28年度、先端産業でのイノベーションや、国内外での連携、環境に配慮したものづくり、グローバルニッチ分野での販売等を実現している企業を募集し、その中から他の模範となる取組みを進める企業を「TAMAブランド企業」として認定し、平成29年度は、TAMAブランド企業の中から、GNTの取組みがユニークな企業をTAMA-GNT企業として選定しました。

I TAMAブランド化推進事業 運営委員会の実施

事業の運営方針と産学官金サミットにおける具体的なプログラムの企画・検討を行う「TAMAブランド化推進事業 運営委員会」を開催しました。

- 第1回 平成29年 5月30日
- 第2回 平成29年 8月 2日
- 第3回 平成29年11月24日

II 第9回TAMA産学官金サミット

開催日時：平成29年8月2日（水）
15：00～19：40

開催会場：公立大学法人首都大学東京
南大沢キャンパス

参加者数：150人

主催：（一社）首都圏産業活性化協会、
公立大学法人首都大学東京

後援：経済産業省 関東経済産業局、
東京都、埼玉県、神奈川県、西武信用金庫、
日刊工業新聞社、日本経済新聞多摩支局

15：00～ 主催者挨拶 首都大学東京 学長 上野 淳、首都圏産業活性化協会 会長 吉田 善一
来賓挨拶 羽村市長 並木 心様、経済産業省 関東経済産業局長 後藤 収様

15：20～
講演「関東経済産業局の戦略プログラム2017について」
関東経済産業局総務企画部企画課長 近藤かおる様

16：10～
講演「IoT、AI、EDIは、地域創生のためにある」
一般社団法人クラウドサービス推進機構 理事長、
公益財団法人ソフトピアジャパン 理事長 松島 桂樹様

17：15～ プレゼンテーション「産学連携事例とTAMAブランド」
「異業種交流によるオープンイノベーション」
首都大学東京 システムデザイン研究科 楊 明様

「グローバルニッチトップをめざす---
事例紹介 ブローポイントアナライザ(BPA)の場合」
TAMAブランド企業
株式会社上島製作所 開発企画室室長 井上 晴伸様

「目指すのはワイヤレス給電の業界でNo1の企業です！」
TAMAブランド企業 株式会社ビー・アンド・プラス 代表取締役社長 亀田 篤志様



Ⅲ TAMA-GNT企業

1. TAMA-GNT企業

TAMAブランド企業の中から、下記のGNTとして取り組みがユニークな企業をTAMA-GNT企業として選定しました。



■ TAMA-GNT

G : global (海外で十分に闘える製品・技術をもっている)

- ・グローバル市場に直接展開している。
- ・他社製品に組み込まれるなど間接的にグローバル市場に展開している。
- ・グローバル市場を意識した経営上の工夫がある。

N : niche (市場の細分化やターゲティングなどで目の付け所が優れている)

- ・特定製品・役務が細分化されている。
- ・市場を細分化する軸がユニークである。
- ・ターゲットとする顧客の絞り込みが優れている。

T : top (競合他社を寄せ付けない (=市場シェア率が高い) 強みを持っている)

- ・製品力 (技術シーズの魅力) ・提案力 (シーズ志向によるニーズ喚起力) がある。 <Product>
- ・適合力 (サービスも含めて市場ニーズに合わせる力) がある。 <Product>
- ・コスト競争力 (安く作る力) がある。 <Price>
- ・販売力 (チャネル選定やセールス等の販売面の力) がある。 <Place・Promotion>

No	地域	企業名	事業内容
1	東京	(株) 鬼塚硝子	医療用硝子容器、炭酸ガスレーザー、電解放出型X線管製造販売
2	東京	金鈴精工(株)	精密機械加工部品の製造
3	埼玉	カネパッケージ(株)	各種緩衝材・設計・試験・製造・販売
4	東京	綜研化学(株)	化学品の製造・販売、装置システムの生産・販売
5	東京	(株) イチカワ	産業用電子機器・計装盤の製造、鉄道車両用制御ユニットの製造、変圧器・変成器・電源機器の製造
6	東京	第一合成(株)	物流機器、静電気対策製品、環境・液晶関連商品、文化財保存機器の企画、設計、製造、製作、販売
7	東京	ニシハラ理工(株)	めっき加工、めっき技術開発(試作・解析)、生産装置の設計・製作
8	神奈川	(株) イノウエ	組紐製造及び販売
9	東京	(株) 東洋ポデー	トラック用リアボディの製造販売
10	埼玉	(株) アダムジャパン	ビリヤード用品の企画、開発、製造、販売、輸出入およびビリヤード場の経営

中核企業創出支援事業

地域経済の活性化のためには、地域を牽引する企業（＝地域中核企業）を数多く創出し、その成長のための支援を行うことが有効です。

このため、国では地域中核企業候補の成長のための体制整備や、地域中核企業の更なる成長を実現するための事業化戦略の立案/販路開拓等の取組を支援しています。

当協会は、地域中核企業の更なる成長のため、新分野・新事業等に挑戦する地域中核企業候補の成長を促すため、支援人材を活用して全国大の外部リソース（大学、協力企業、金融機関等）とのネットワーク構築を支援するための事業（地域中核企業創出支援ネットワーク形成事業）、支援人材を活用して事業化戦略の立案/販路開拓をハンズオンで支援するための事業（プロジェクトハンズオン支援事業）を経済産業省からの委託を受け実施しました。

1. 事業イメージ

1. 地域中核企業創出支援ネットワーク形成事業

対象経費：支援人材の活動費、マッチングに係る会議等の経費等



2. プロジェクトハンズオン支援事業

対象経費：支援人材の活動費、市場調査費、販路開拓のための展示会出展費等



Winning Topic

地域未来投資促進法施行 地域経済を牽引する事業者への支援、 地域未来牽引企業の選定 (The Driving Company for the regional future)

地域では、成長ものづくり・観光・農林水産・地域商社・第4次産業革命技術などその地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取組が登場しつつあります。こうした取組（「地域未来投資」）が全国で活発になることで、地域経済での稼ぐ力の好循環の実現が期待されています。

このような成長分野における地域経済を牽引することが期待される取組を集中的に支援し、高い付加価値を生み出し、地域経済の好循環を実現するため、2017年7月31日「地域未来投資促進法」が施行されました。

地域未来投資促進法は、地域特性を活用した事業の生み出す経済的波及効果に着目し、これを最大化しようとする地方公共団体の取組を支援するものです。

また、経済産業省では、地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補である企業2,148社を「地域未来牽引企業」として選定しました。

「地域未来牽引企業」には、当協会会員企業も選定されています。

(株)コア (青森県弘前市)
(株)金子製作所 (埼玉県さいたま市)
(株)協同商事 (埼玉県川越市)
(株)井口一世 (東京都千代田区)
京西テクノス(株) (東京都多摩市)
(株)TOK (東京都板橋区)
武州工業(株) (東京都青梅市)
アイフォーコム(株) (神奈川県相模原市)
(株)ミズキ (神奈川県綾瀬市)

(株)industria (埼玉県入間市)
カネパッケージ(株) (埼玉県入間市)
(株)テラダイ (埼玉県入間市)
(株)菊池製作所 (東京都八王子市)
スタック電子(株) (東京都昭島市)
東成エレクトロビーム(株) (東京都西多摩郡瑞穂町)
(株)ミラック光学 (東京都八王子市)
(株)コバヤシ精密工業 (神奈川県相模原市)
山陽精工(株) (山梨県大月市)



地域未来牽引企業

I ネットワーク形成事業:

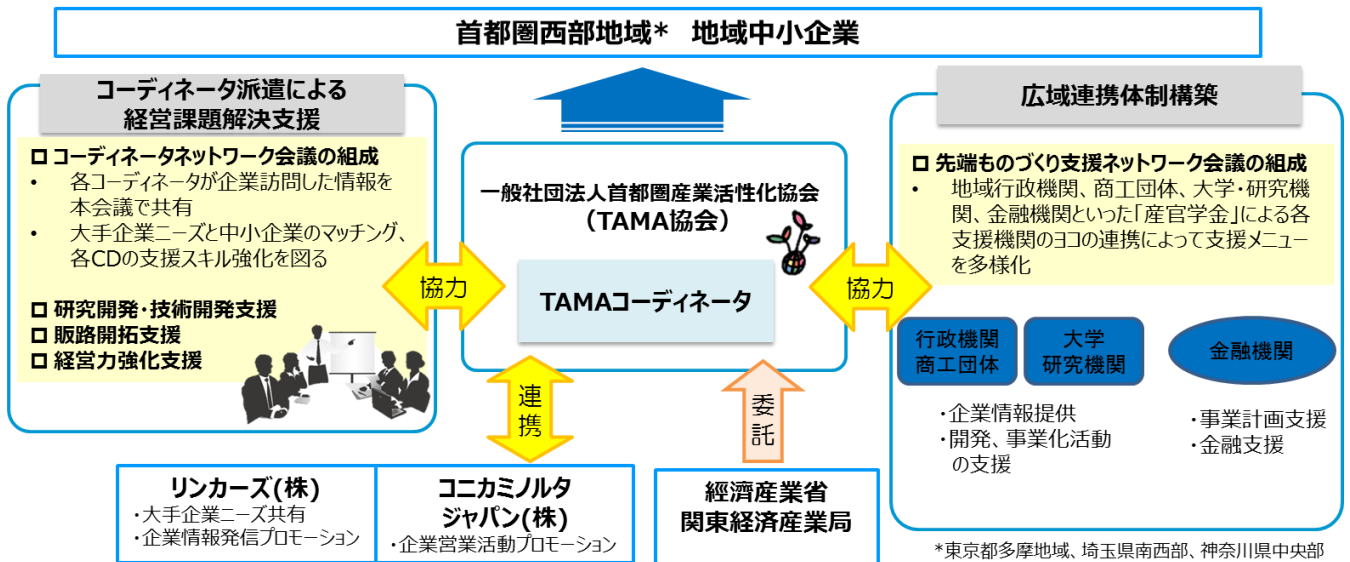
「首都圏西部地域発信型、先端ものづくり中核企業創出支援ネットワーク形成事業」

1. プロジェクト概要

本プロジェクトは、首都圏西部地域に形成される「ものづくり」産業集積のポテンシャルを活かし、連続的にイノベーションが創出されるコーディネータ事業を実施して、新たな需要を生み出すことが可能な、世界有数の先端ものづくり地域中核企業候補集積地域の形成を目指します。この実現のため、コーディネータ、各支援機関が連携活動し事業推進します。

併せて他地域へのモデル展開も目指し、広域的な牽引中核企業群の形成も進めました。

2. プロジェクト体制



3. プロジェクトの実績

平成29年度からスタートした本プロジェクトは、外部連携体制の構築・強化を図ることでバラエティな支援策ネットワークをつくり、コーディネータによる企業訪問・個別支援・サービス提供を通じて課題解決を行いました(44社)。また、コーディネータの支援スキルを強化する目的で“コーディネーターネットワーク会議”を開催し(3回)、また本取組を多地域へのモデル展開し継続的・広域的な中核企業群の形成を進めるため、“先端ものづくり支援ネットワーク会議”を開催しました。

一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)

PR活動の支援

大手企業とのビジネスマッチングを運営するリンカーズのHP (<https://linkers.net/>)にてPR活動を行います。

活動支援の流れ

担当者が弊社へ訪問し、ヒアリングさせていただきます。
ヒアリング内容から写真やPR文章を作成し、リンカーズのHPに掲載いたします。

●無料 限度企業数：5社
委託事業のため、企業様負担はございません。ただし、予算が限られておりますのでお早めにご連絡ください。

こんな課題に対応いたします！

「効果的な企業PRはできないだろうか！」「新規顧客の開拓をしたい！！」

ご案内させていただきます。お申し込みの旨をご連絡ください。お申し込みの旨をご連絡させていただきます。

一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)

展示会後の支援【国内・海外】

展示会後の営業フォロー活動を代行いたします。

顧客管理	メール送信
架電活動	アポイント取り付け

展示会で獲得した名刺をもとに営業フォロー活動を行い、終了後はレポートを提出いたします。主要な言語対応可能なため、国内だけでなく海外でも利用が可能です。

●無料 限度企業数：10社
委託事業のため、企業様負担はございません。ただし、予算が限られておりますのでお早めにご連絡ください。

こんな課題に対応いたします！

「海外展示会に参加したいが、言葉の問題がある...」「展示会に出ても成果がでない...」「大量にある名刺情報を、最大限に活用したい！」

ご案内させていただきます。お申し込みの旨をご連絡ください。お申し込みの旨をご連絡させていただきます。

地域未来牽引企業

▶ 地域未来牽引企業推薦、選定。4社支援

経営革新計画申請

▶ 25社支援

経営力向上計画申請

▶ 25社支援

ものづくり補助金申請

▶ 17社支援

広域「先端ものづくり支援ネットワーク」

※CD...コーディネータ

▶ 販路開拓支援
リンカーズのHPにて広報活動
5社支援

▶ 販路開拓支援
コニカミルタの営業支援。
展示会後のフォロー活動。
9社支援

▶ CDネットワーク会議
11月14日、12月22日、2月12日開催

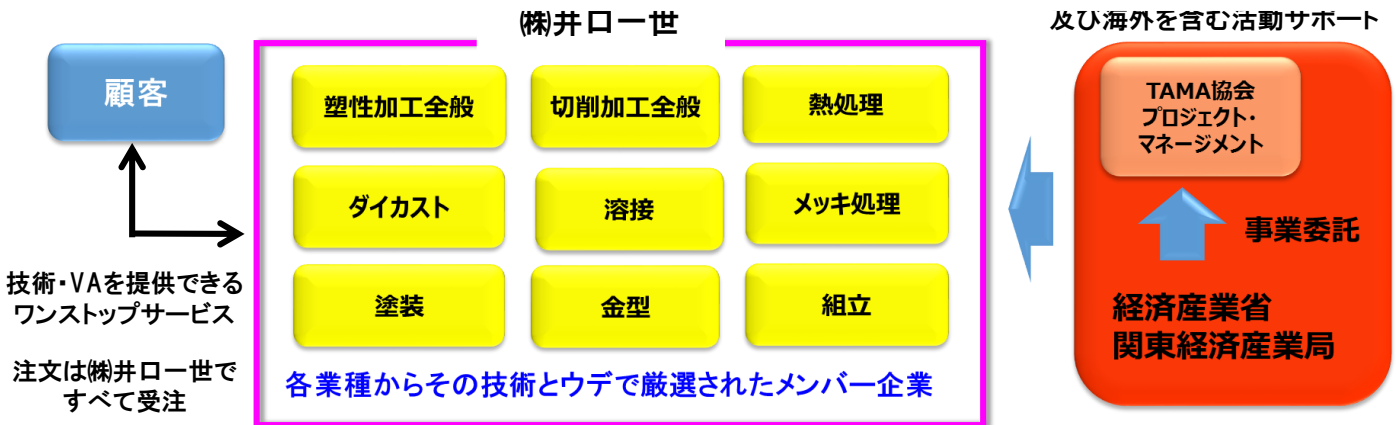
▶ 先端ものづくり支援ネットワーク会議
3月19日開催
参加機関：関東経済産業局、青森県、八戸市、八王子市、青森市、神戸市、いわき産学官ネットワーク協会、リンカーズ、コニカミルタ、TAMAコーディネータ

II ハンズオン支援事業:「世界最先端の試作・量産加工センター」サービスの展開

1. プロジェクト概要

本プロジェクトは、プロジェクトリーダー企業である(株)井ロー世を中核に、広域多摩地域及び近隣他県の基盤技術型中小企業によるサプライチェーンを拡充するとともに、国内外における新規販路開拓を行い、これらユーザーからの試作及び量産にワンストップで対応する「世界最先端の試作・量産加工センター」サービスを展開することで、プロジェクトリーダー企業の事業拡大及びサプライチェーンに参画する地域企業全体の受注拡大を目指すものです。

2. プロジェクト体制



3. プロジェクト平成29年度までの実績と今後の目標

本プロジェクトは平成27年に新分野進出支援事業（経済産業省・委託事業）として立ち上がりました。初年度は参加企業（初年度12社）のコアコンピタンスをまとめたセールス・ツールの作成からスタート、シンガポールでのカンファレンス（42社/団体から55名の参加）を成功させる事も出来ました。案件引き合いを受けたSimtech（シンガポール科学技術庁A*STARの下部機関）との試作打ち合わせは現在も継続されています。

平成28年度は機械要素技術展、国際航空宇宙展に参加、PL企業（株）井ロー世による出展者セミナー、技術コンサルタントが好評で今期の問い合わせ（見積もり）拡大につながりました。また国際航空宇宙展で案件引き合いを得た海外の数社との商談も今期の具体的な打ち合わせに繋げる事が出来、来期の売りが期待されています。

平成29年度は売り上げ面では前期比約40%増と前期程の大幅拡大の達成は厳しい見通しですが、参加企業も20社（含むPL企業）となりサプライチェーンも充実してきました。

平成30年度以降の目標は、本プロジェクトの本来の目標である参加企業が其々の分野で保有している「トンがった技術」を繋ぎ合わせプロジェクトとして新しいソリューションをユーザーにワンストップで提供できる仕組みの開発を目指して行きたいと考えています。



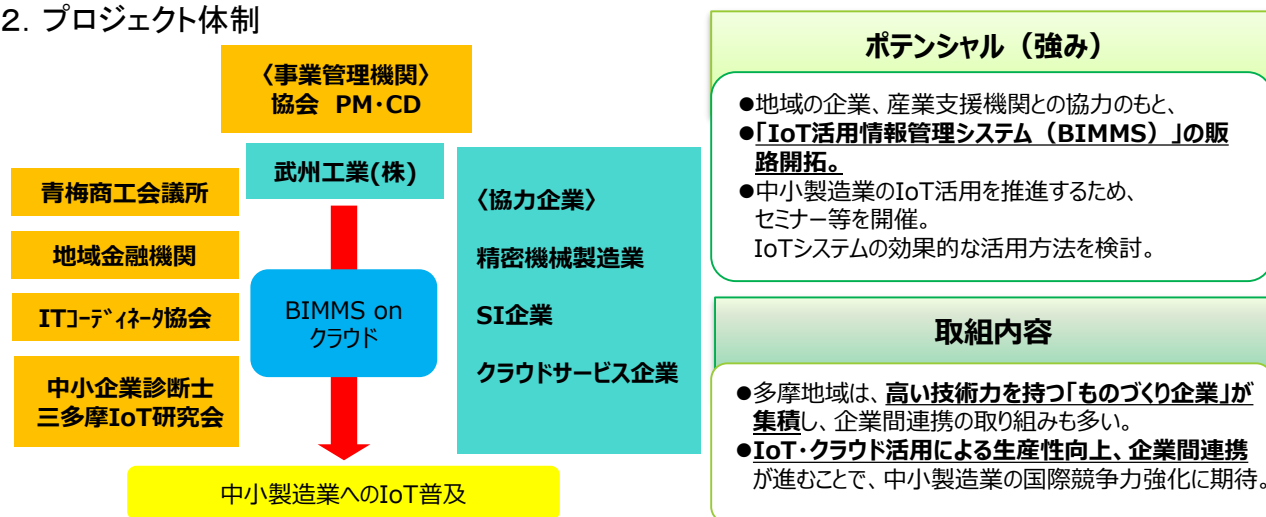
全体戦略会議の様子

Ⅲ ハンズオン支援事業:「IoT普及促進活動」の展開

1. プロジェクト概要

本プロジェクトは、金属パイプ加工の分野で国際競争力を有する武州工業(株)が自ら構築したIoT活用システムである「総合情報管理システム」を地域の中小製造業に普及し、地域の中小製造業のIoT活用による生産性向上と、同社のIoT活用によるサービス分野での事業拡大を図ることを目指すものです。

2. プロジェクト体制



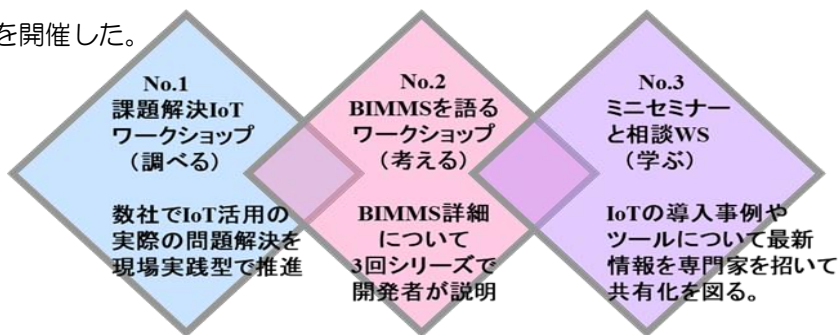
3. プロジェクトの実績

(1) 武州庵ワークショップの開催

デジタルなものづくりの考え方とIoT活用システム「BIMMSソリューション」を地域中小製造業に根付かせることを目的に、IoTの特徴と中小企業特性を活かし、「小さくても賢い工場」実現で生産性向上」「つながる工場」で連携・取引競争力を強化」「ものづくりのサービス化」で新たなビジネス変革により地域中小企業の事業拡大を図ることを目指して、武州工業(株)内の研修施設を「武州庵」として地域へ開放。

メンバー制によるワークショップを開催した。

- BIMMS説明会 3回
- ミニセミナー 3回
- 課題解決ワークショップ 2回



(2) 展示会出展によるIoT活用情報管理システムの周知

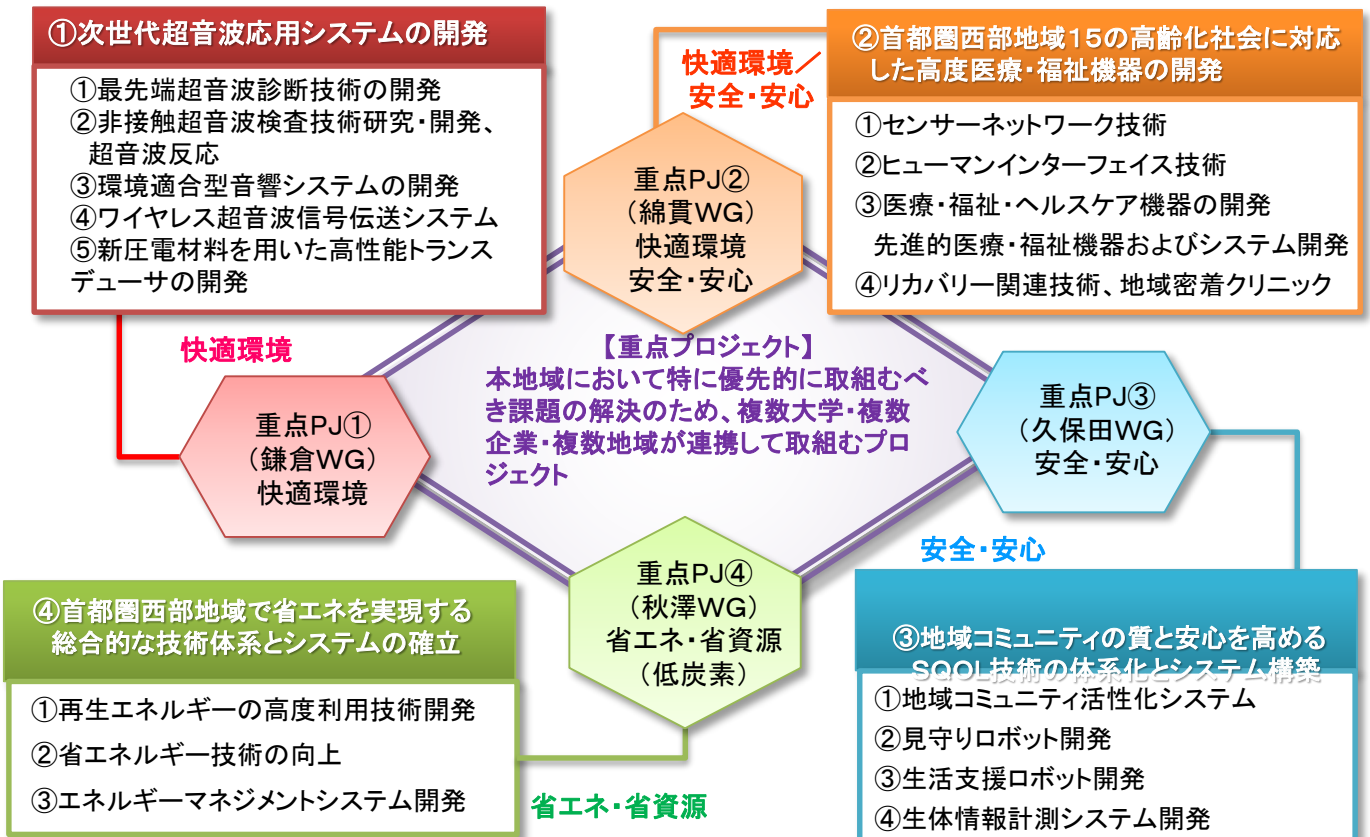
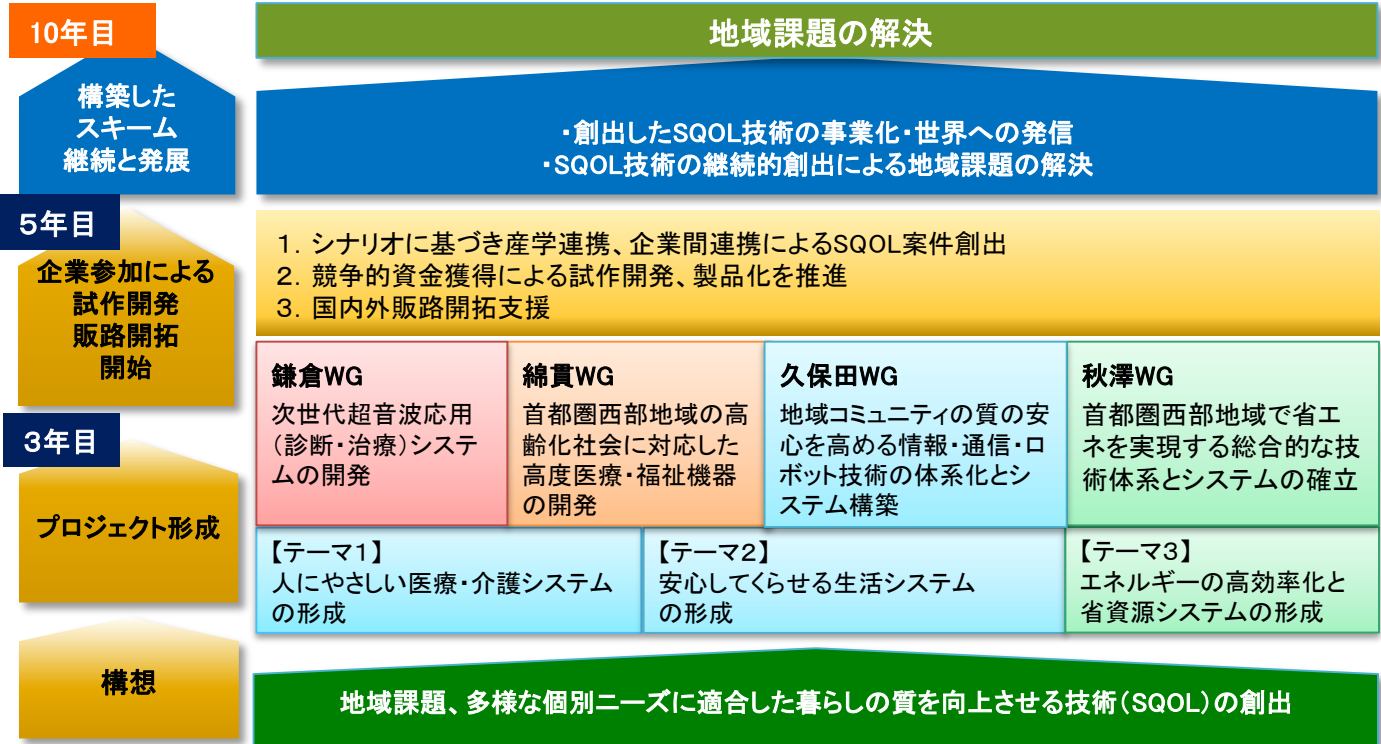
①西武信金ビジネスフェア (第18回)
 日時: 2017年11月2日 (木)
 会場: 東京ドームシティプリズムホール

②たま工業交流展 (第17回)
 日時: 2018年2月22日 (木) ~23日 (金)
 会場: 東京都立多摩職業能力開発センター



3. 地域イノベ・重点プロジェクトWG(ワーキンググループ)の組成・実施

複数の企業・大学・地域が統一テーマで連携して取り組めるような研究開発プロジェクト（重点プロジェクト）の創出を目指し、そのシナリオ作りを進めるWGを立ち上げました。WGでは、地域課題の解決につながるよう、ライフイノベーション、グリーンイノベーション分野を軸に、産学官金の連携によってSQOL技術案件を創出していくための協力体制の構築を進めています。



4. 医療イノベーションフォーラム

平成20年度に「医療機器デバイス研究会」（平成24年度に「医療イノベーションフォーラム」へ改称）を設立し継続して活動を行っています。これまで、本フォーラム活動は産学連携、産々連携による多くの案件創出に効果を果たしています。

（1）平成29年度の具体的な取組み方針

- ①医療系全般の知識吸収・情報収集を目的としての医学専門家、学識者による講演会の開催
- ②大学病院・地域中核医療機関との交流会を核としたマッチングの促進
- ③分科会方式での医療デバイスのシーズ、ニーズ調査による新規な研究開発テーマの案件化

（2）医療イノベーションフォーラム（研究会）内容

①各回の基調講演内容

開催日	講師	講演テーマ	参加者数
5月23日	ケイアンドケイジャパン株式会社 代表取締役 久保田 博南氏	医療機器産業の最新トレンド	35
	東京慈恵会医科大学 非常勤講師 金本 光一氏	医療機器のリスクマネジメント	
7月26日	東京農工大学 工学研究院 機械システム工学 部門 准教授 ベンチャー・ジェンチャン氏	ロボット技術を用いたパーソナライズドヘル スケアへ	32
	上智大学 理工学部 情報理工学科 准教授 藤井 麻美子氏	生体電気光特性と深部血流の無侵襲	
9月29日	首都大学東京 システムデザイン学部 知能機 械システムコース 准教授 三好 洋美氏	細胞における寛容応答機構の理解に基づく生 体材料表面のデザイン	30
	芝浦工業大学 システム理工学部 生命科学科 助教 中村 奈緒子氏	細胞を制御するバイオマテリアル～再生医療 への応用を目指して～	
12月14日	宇喜多白川医療設計株式会社 代表取締役社長 宇喜多 義敬氏	中小企業が医療機器産業に参入するための キーポイント	37
	関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 係長 荻原 遼平氏	小規模事業者・中小企業向け経済産業省施策 について	
3月 1日	MPO株式会社 代表取締役 天野 徹也氏 (聖マリアンナ医科大学 産学官連携コーディネーター)	医療現場のニーズに基づく機器開発の課題	30
	モディアシステムズ株式会社 代表取締役会長 馬杉 和秀氏	医療機器産業への新規参入の経過と販売戦略	

（3）分科会活動

平成29年度もケイアンドケイジャパン株式会社 代表取締役 久保田博南氏を講師として、限定メンバーで「参加型実戦セミナー」を4回開催しました。

- 第1回：「医療機器分野の技術的、業種別の動向について」（久保田講師）、MEMOテクノス会社紹介
- 第2回：株式会社ケイテクリサーチ会社紹介
- 第3回：「業界参入事例の紹介」（久保田講師）、株式会社常光会社紹介
- 第4回：「ヘルスチェッカの動向」（久保田講師）、参加者の概況と意見交換

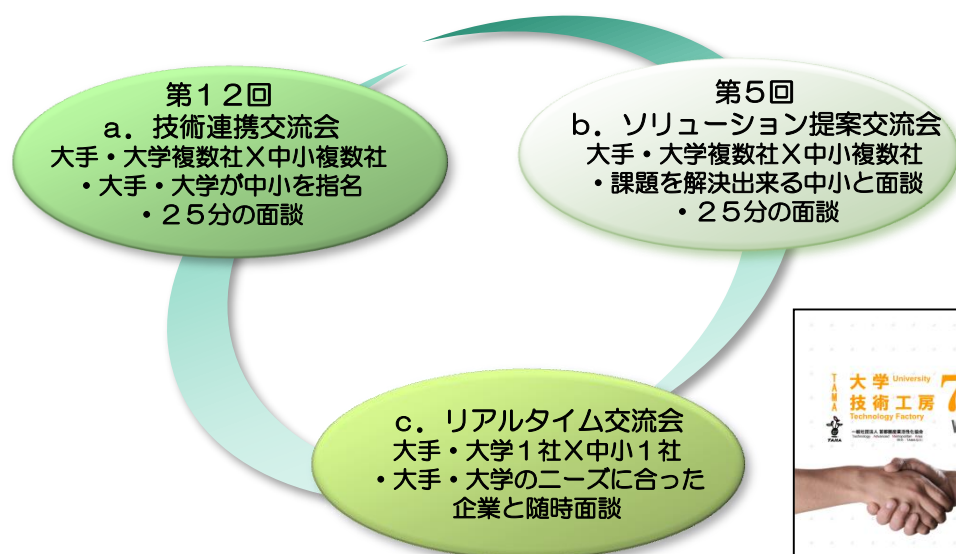
5. 地域イノベ・技術連携交流会

(1) 活動目的と活動スキーム

大手企業・大学・中小企業間で事業拡大・新事業・新技術・新製品などの創出につながる連携の実現を目的として、以下の3交流会を開催しました。

技術連携交流会は大手企業・大学・中小企業を結び付ける交流会です。大手企業・大学が中小企業のコア技術をまとめた「製品・技術PRレポート」（平成29年度はワザ自慢Vol.11として発刊。これまでの総数1586社）を見て関心のある中小企業を指名・面談するほか、大手・中小企業が大学研究者の技術をまとめた「大学技術工房」（平成29年度はVol.7。これまでの総研究者数523名）を見て大学研究者を指名し面談します。

ソリューション提案交流会は、大手企業、大学、中小企業が抱えている課題を事前に提示し、その課題を解決できる中小企業や大学と面談する場を設定します。また、よりタイムリーに企業ニーズにこたえるリアルタイム交流会を年間を通じて実施しています。



(2) 平成29年度開催概要

a. 技術連携交流会・ソリューション提案交流会

大手企業や大学が指名した複数の中小企業、大手企業が指名した複数の研究者と面談でき、互いに連携がスタートできる技術連携交流会。事前に大手企業から収集したニーズを解決できる中小企業や大学研究者を探索して面談の場を提供するソリューション提案交流会を同時に開催しました。

- ・開催日：平成29年10月6日（金）
- ・開催会場：中野サンプラザ13階コスモルーム他
- ・参加者数：350名
- ・面談規模：大手企業：36社、大学等：8大学 / 1機関、中小企業：110社
- ・面談数：大手企業／企業：96面談、大学研究者／企業：45面談
中小企業間：62面談



b. リアルタイム交流会

大手企業が探している技術をキャッチし、マッチする中小企業をリアルタイムで紹介するため、連携確度が高い交流会です。

提供案件数 243件、 提案件数 157件（2月末日現在）

平成29年度の支援事例：大手企業 医療分野での新製品開発を企画

中小企業2社から提案受領、2社を推薦 → 1社と試作を進めていくこととなり、継続中

6. 平成29年度地域イノベ・シンポジウム

本活動の一環として、「地域イノベーション戦略推進プログラム」（文科省）の支援を受けて地域の大学等研究機関と連携し、知的財産の形成、人材の育成を行っています。

本事業のこれまでの成果を発表し、更なる推進、産学連携の促進を図ることを目的とし、本シンポジウムを開催しました。

開催日時：平成30年3月7日（水）
13：00～18：00
開催会場：京王プラザホテル八王子 4階 宴
参加者数：120人
主催：一般社団法人首都圏産業活性化協会



プログラム

■ 開会挨拶

会長挨拶 首都圏西部イノベーション推進協議会 会長 吉田 善一
一般社団法人 首都圏産業活性化協会 会長

来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 地域支援企画官 生田 知子 様

■ 特別講演 『イノベーション創出による地域活性化の取り組み状況と成果』 ～地域特性を活かしたスマート化と技術開発～

1. 「超高齢社会に対応した医療・福祉・介護・ヘルスケア機器の開発
～先端産業国際ラボラトリーからイノベーションを発信～」
埼玉大学大学院 教授 綿貫啓一 様
2. 「地域コミュニティの質と安心を高める情報・通信・ロボット技術の体系化とシステム構築
～サービスロボットインキュベーションHub(*serBOT inQ*)～」
首都大学東京 教授 久保田直行 様
3. 「次世代超音波応用に関する研究開発 ～大学発ベンチャー企業としての取り組み～」
株式会社スマートエーイー 代表取締役（電気通信大学 客員教授）鎌倉友男 様



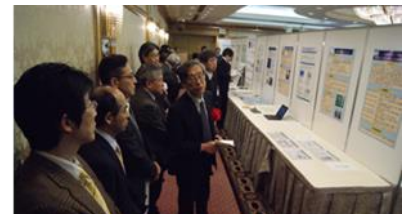
■ 総括

「地域に裨益するイノベーション創出を目指して」（一社）首都圏産業活性化協会 松本浩造

■ 閉会挨拶

（一社）首都圏産業活性化協会 事務局長 池田雅史

■ ポスターセッション



◆重点プロジェクト：綿貫WG（埼玉大学）/久保田WG（首都大学東京）/鎌倉WG（電気通信大学）

◆大学・自治体・金融機関・支援機関

首都大学東京/ 電気通信大学/ 東京農工大学/ 埼玉大学/ 青山学院大学/ 芝浦工業大学/ 東洋大学
都立産業技術センター/（一社）首都圏産業活性化協会/ 埼玉県/ 東京都/ さいたま市/ 相模原市/ 西武信用金庫

◆展示企業

(株)朝日ラバー/(株)インターメディア研究所/(株)industria/インフィテックエム(株)/エイクレス研究会
(株)エーアンドエーシステム/(株)検査技術研究所/(株)コスモテック/ コスモリサーチ(株)/コニカミノルタ(株)
(一財) 小林理学研究所/(株)サーテック/さいたま商工会議所企業/三愛電子工業(株)/常光/(株)創健/のぞみ(株)
(株)ソーケンメティカル/(株)椿本チエイン/(株)アルファテックノ/ 壺坂電機(株)/(株)日昇テクノロジー/リオン(株)
(株)バイオネット研究所/ハタプロ・ロボティクス(株)/(株)バンガードシステムズ/(株)リガルジョイント

7. スマートなものづくりを考える会

IoTやインダストリー4.0などの新技術の実現と導入により、生産性の向上を進められています。「つながる工場」「スマートファクトリ」「IoT導入」などが取りざたされている中で、中小企業にとっての「スマートなものづくり」とはどのようなものか、何が求められるか等を考えることを目的に定期的に関催し、情報共有や連携強化を図りました。

回数	実施日	講師	演題
第1回	5月30日 (参加者:20名)	1. 合同会社 井上研一事務所 井上 研一 様	1. 明日からできるIoTとAI
第2回	8月29日 (参加者:62名)	1. 武州工業 代表取締役 林 英夫 様 2. 武州工業 主任 町田 武範 様 3. TAMAコーディネータ 佐井 行雄	『CONNECT IN TAMA 人を育てる気づきのIoT』 1. CONNECT IN TAMA 人を育てる気づきのIoT 2. 武州のものづくりのクラウド化 BIMMS on Cloud 3. デジタルイノベーションハブin武州庵 オープンイノベーションの推進
第3回	10月27日 (参加者:21名)	1. 関ものづくり研究所 代表 関伸一 様 2. 株式会社 星製作所 代表取締役 星 肇 様 3. オートデスク株式会社 技術営業本部 エンジニアリングマネージャー加藤 久善 様	『中小企業における「デジタルものづくり」』 1. IoT時代のデジタルエンジニアリング再考 2. 設計もできる板金屋から、板金もできる設計屋へ 3. 3Dプリント、人工知能やIoTで生産現場の未来はどう変わるか ～Fusion360 今までにないCAD/CAM/CAE～
第4回	2月2日 (参加者:26名)	1. 株式会社クレانسメアード 代表取締役社長 菊池 一夫 様 2. DATAビジネス株式会社 取締役 嶋田圭吾 様 3. 電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 教授 森重 功一 様 4. 株式会社 クライム エヌシーデー 専務執行役員 瀬戸 隆 様 5. 有限会社 三井刻印 エンドミル部 営業部長 三井 豊 様	『スマートなものづくりを支えるソフトウェア及び工作機械技術』 1. 情報活用プラットフォーム (ビッグデータ収集・分析・可視化) 2. AI、IoT、ビッグデータの活用事例紹介 3. 工作機械を賢く動かすためのソフトウェア技術 4. バーチャル技術を活用したNCデータ作成手法 5. マニュアル機の強みを活かした完全オーダーメイドの 微細工具づくり

II 農工連携(東京農工大学、JA東京むさしとの連携)

平成29年3月に東京農工大・JA東京むさし・首都圏産業活性化協会は、都市型農業の振興、科学技術及びものづくり技術の振興による地域経済の活性化を目指し、包括的連携に関する協定を締結しました。

平成29年度は、三機関の実務担当者レベルでの定例会を毎月開催し、情報交流と連携案件の創出を行っています。

7月に、異業種連携グループ「WEB多摩21」(会長：株式会社鬼塚硝子 鬼塚会長)と東京農工大学・JA東京むさし・首都圏産業活性化協会による交流会を開催。

12月には、「東京農工大・JA東京むさし・首都圏産業活性化協会」の産学連携に関する取組報告会開催しました。

案件の具現化：

- ① JA東京むさし、東京農工大学農学府大川 泰一郎教授、株式会社コヤマ (WEB多摩21メンバー)

「先進的里芋栽培用自動点滴灌水装置」の共同研究スタート。

- ②株式会社相馬光学、東京農工大学農学部

近赤外線技術の農業分野への応用を共同探索中。

※里芋の生育状況



Ⅲ 研究開発支援事業(競争的資金獲得支援)

会員企業の研究開発、技術及び生産の革新を支援し企業が目的とした技術の開発もしくは製品を商品化し、企業経営の安定化・成長を図り、それらの波及による地域振興を目的として、従前から様々な研究開発支援事業を展開しています。

さらに、TAMA-TLO㈱と協力して、企業のニーズを的確にヒアリングし、各テーマに関連した技術シーズを持つ大学研究者を選定し、産学連携での研究開発活動も推進しました。

1. 各種公的助成金事業での支援

国や自治体の公的助成事業（競争的研究資金）を多くの会員企業に有効活用していただくため、迅速な情報提供・周知→個別相談会→計画書／提案書作成支援→採択後の事業遂行の支援を行いました。

(1) 支援した助成事業

- ①東京都：新製品・新技術開発助成事業、市場開拓助成事業、次世代創出プロジェクト2020助成事業、製品改良・規格等適合化支援事業、成長産業分野の海外展開支援事業、第2回革新的事業展開設備投資支援事業、東京都トライアル発注認定制度
- ②東京都／東京都中小企業団体中央会、受注型中小製造業競争力強化支援事業
- ③経済産業省：戦略的基盤技術高度化支援事業
- ④全国中小企業団体中央会：平成29年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金事業」
- ⑤埼玉県：産学連携研究開発プロジェクト補助金、新技術・製品化開発費補助金事業
- ⑥中小企業基盤整備機構：ビジネス戦略支援事業
- ⑦総務省：「IoT/BD/AI情報通信プラットフォーム」社会実装推進事業
- ⑧公益財団法人日本財団：2018年助成事業
- ⑨多摩信用金庫：特色ある多摩地域創出連携支援補助金

(2) 採択された助成事業 ※平成29年度申請、平成30年4月以降の採択発表分は含まず

- ①東京都
 - ・第2回革新的事業展開設備投資支援事業（1件）
 - ・成長産業分野の海外展開支援事業（1件）
 - ・製品改良・規格等適合化支援事業（1件）
 - ・新製品・新技術開発助成事業（1件）
 - ・平成29年度市場開拓助成事業（3件）
- ②中小企業基盤整備機構
 - 平成29年度ビジネス戦略支援事業（2次）（1件）
- ③埼玉県関係 平成29年度埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金（1件）
- ④公益財団法人日本財団：2018年助成事業（1件）

(3) 事業管理機関として支援した事業

平成29年度埼玉県産学連携研究開発プロジェクト補助金（ナノカーボン分野）」

テーマ名：カーボンナノチューブ／ナノホーン切削液および新ダイヤモンド切削技術の実用化開発
共同研究体構成員：中核企業…池上金型工業株式会社（埼玉県加須市）

国立研究開発法人理化学研究所、国立大学法人茨城大学

研究開発期間（予定）：平成29年度～平成31年度

販路開拓・海外展開支援事業

I 販路開拓・海外展開事例（八王子市海外経済交流促進事業）

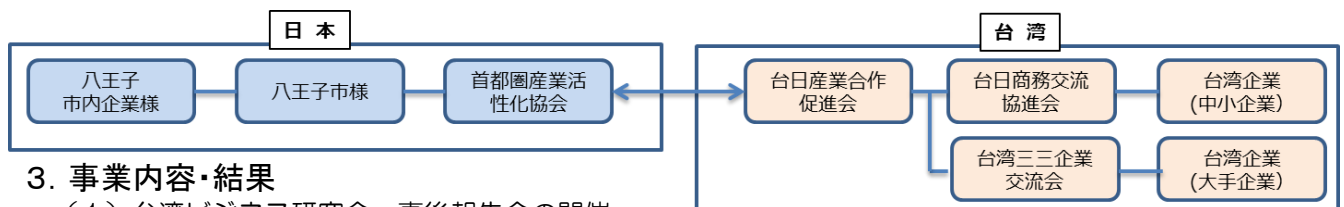
1. 事業概要

平成27年度から、八王子市内の中小企業と台湾の企業との連携へ向けた取り組みを行っています。市内の中小企業が持つ優れた技術などの情報を発信し、八王子市と台湾の産業支援機関等とのネットワークを構築する取り組みを実施し、その成果を足掛かりとして平成28年度は台湾での展示会・商談会を中心とした市内中小企業の販路開拓等の支援を実施しました。

平成29年度は台北に加え台中でも商談会を行い、また商談会後のフォロー支援を集中して行うことで、より販路拡大に重点を置いた取組を実施しました。

2. 事業体制

台湾現地で日台間の経済・貿易交流の強化を推進している団体と連携。様々な業種・規模の会員企業を有する団体と事業推進する事で、より活発な商談会を期待。



3. 事業内容・結果

(1) 台湾ビジネス研究会・事後報告会の開催

台湾の産業経済動向や海外ビジネスに必要な知識・先進的事例、販路開拓に向けた事前準備と具体的な戦略・対策に関する研究会開催しました。

- 第1回 事業全体説明会・企業顔合わせ 日時：平成29年6月27日（火）
- 第2回：商談会・帰国後のフォロー活動説明 日時：平成29年10月4日（水）
- 第3回：事業報告会 日時：平成30年2月8日（木）

(2) 台湾向け情報発信

アピールすべき参加企業の強み・商品について台湾での販路・連携先企業等の開拓を目的とした中国語の資料を作成し、TAMA協会が有するネットワークを活用し情報を発信

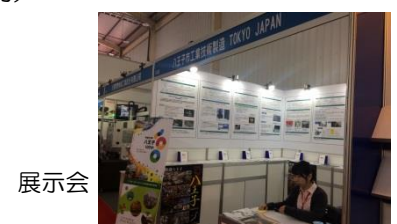
(3) 台湾展示会出展及び商談会開催

- ・商談会：台北（平成29年11月1日）、台中（平成29年11月2日）
- ・展示会：台中工具機会展（平成29年11月2日～6日）

(4) 台湾商談会に向けた事前ヒアリング・事後フォロー

事前ヒアリングを行い参加事業者の目的の明確化及び目的に沿ったアドバイス実施。台湾商談会後フォロー活動を目的としてヘルプデスクを設置し、商談先台湾企業に対して電話・メールでコンタクトを行い状況を把握しつつ案件化支援を行った。

- ・商談件数：88件（台北48件、台中40件）
- ・実績；取引実績 1社、契約締結 3社（代理店契約、守秘義務契約）



II 国内での販路開拓支援

1. 第21回機械要素技術展への共同出展

軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた専門技術展「機械要素技術展」にて、会員企業3社による共同展示、商談を行いました。

開催期間：平成29年6月21日（水）～6月23日（金）

開催会場：東京ビッグサイト

主催：リード エグジビション ジャパン株式会社



2. 第18回ビジネスフェアへの後援・出展

地域企業が持つ自社製品・コア技術のPRと、研究開発・販路開拓等を支援することを目的に開催された「第18回ビジネスフェア」に後援し、多くの会員企業が出展するとともに協会としても出展しました。

開催日時：平成29年11月2日（木）10:00～17:00

開催会場：東京ドームシティ プリズムホール

主催：西武信用金庫

後援：経済産業省関東経済産業局・東北経済産業局、東京都、一般社団法人首都圏産業活性化協会、他



3. 第17回たま工業交流展への後援・出展

多摩地域の中小企業が有する個性豊かな技術や製品を一堂に展示し、製品開発力や加工技術等の紹介を通じた受注の拡大、パートナー企業の発掘に向けた情報収集など多摩地域の工業振興に繋がるビジネスチャンスの場を提供することを目的に開催。協会としても出展しました。

開催日時：平成30年2月22日（木）・23日（金）10:00～17:00

開催会場：東京都立多摩職業能力開発センター

主催：たま工業交流展実行委員会

4. スマートQOL(Quality Of Life) 新技術説明会

大学等の公的研究機関から生まれた研究成果（特許）の実用化（技術移転）を目的に、新技術や産学連携に関心のある企業関係者に向けて、研究者（=発明者）自らが直接プレゼンする説明会をJSTとともに開催し、首都圏西部地域のスマートQOL研究の産と学のマッチングを行いました。

開催日時：平成29年9月7日（木）10:30～15:25

開催会場：JST東京本部別館1Fホール

主催：科学技術振興機構、首都圏産業活性化協会、首都大学東京、電気通信大学、埼玉大学、青山学院大学、芝浦工業大学、東洋大学

後援：特許庁



Ⅲ 展示会マッチング促進支援 (Linkers(株)からの受託事業)

1. モノづくりマッチングJapan2017

本展示会は「次世代製造技術に挑む」をテーマとして開催され、当協会は、「ビジネスマッチングサポートデスク Powered by Linkers」にて、マッチング相談を行いました。

開催期間：平成29年11月29日(水)～12月1日(金)

開催会場：東京ビッグサイト

主催：日刊工業新聞社



2. 中小企業 新ものづくり・新サービス展(東京開催分)

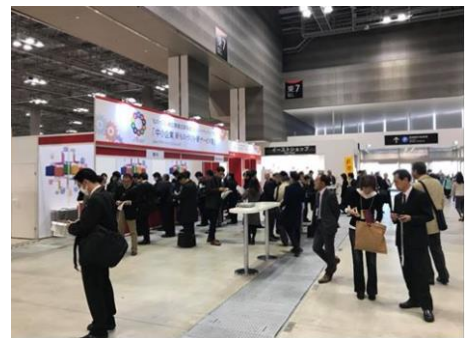
本展示会は「ものづくり補助事業」を通じて、全国の中小企業が生み出した新しい製品・技術・サービスのビジネスマッチング会で、当協会は以下の3点を実施しました。

- ①各出展企業に対し、出展企業間同士のマッチング候補を展示会開催事前に提案。
- ②展示会当日、各出展企業に対しマッチング進捗支援。
- ③展示会当日、「マッチング相談コーナー」ブースにて、マッチング相談を実施。

開催期間：平成29年12月6日(水)～12月8日(金)

開催会場：東京ビッグサイト

主催：全国中小企業団体中央会



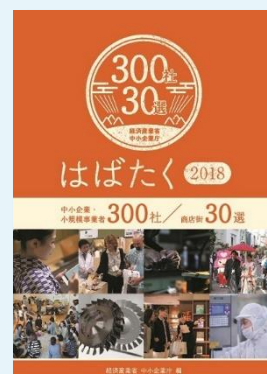
Winning
Topic

経済産業省 はばたく中小企業300社

平成29年3月、中小企業庁は、ITサービス導入や経営資源の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として選定しました。

当協会会員企業も選定されています。

- 生産性向上 ものづくり
(有)久保井塗装 (埼玉県狭山市)
(株)第五電子工業 (神奈川県相模原市)
- 需要獲得 ものづくり
カネパッケージ(株) (埼玉県入間市)
(株)リガルジョイント (神奈川県相模原市)
- 担い手確保 ものづくり
(株)井口一世 (東京都千代田区)



人材育成・確保事業

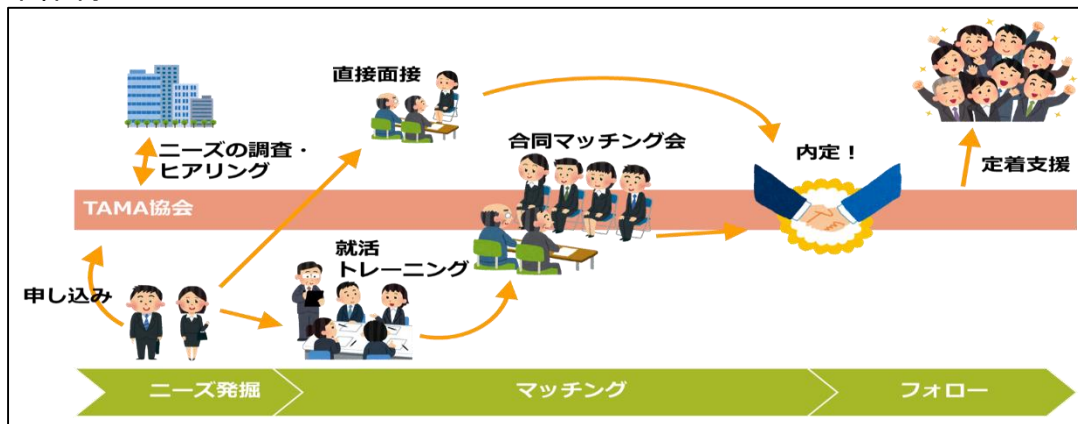
I 青梅市エリア女性・若年者就職アシスト事業

1. 事業概要

青梅市エリア(青梅市及び周辺の多摩地域)の地場産業の活性化と地域経済の発展を目的として、就職を希望する女性や若年者に対し、就職を支援する事業として実施しました。

平成28年度はあらかじめ事業に応募した女性・若年者に対してトレーニングを実施したのち、企業との合同面接会を実施するという流れで実施。就職に対してトレーニングを必要としない人、あるいは就職を急ぎたい人にとって機会を逸することも懸念されたため、29年度はトレーニングを希望する人には従来の仕組みを残しつつ、即時にマッチング可能な人に対しては応募意思を確認したのち速やかに企業へ紹介できるよう柔軟性を持たせた形で事業運営を致しました。

2. 事業体制



3. 事業実績

(1) 女性や若者の求職者と、スキルアップ（求職者実績）

項目	実績	内容
参加求職者数	12名	女性：9名 男性：3名
新規就業者数	4名	正規：3名 パート/アルバイト：1名 女性：4名 男性：なし
スキル研修参加者数	1名	男性：1名 2018年1月～現在
個別面談実施者数	4名	女性：3名 男性：1名

(2) 雇用希望の企業（参加企業実績）

項目	実績	内容
参加企業数	21社	製造業：13社 飲食サービス業：2社 運送業：2社 小売業：2社 情報通信業：1社 サービス業：1社
定着支援研修	0社	意向は1社あったが、年度事業内に入社がなかった

(3) 連携事業者 パーソルキャリア、東京しごとセンター多摩

(4) 実施イベント

	イベント名	場所	実績	備考
1	2017年9月6日 企業交流会(マッチングイベント)	たましんRISURUホール 第1会議室	3社/13名	パーソルキャリア(東京都正社員就職サポート事業)との共催
2	2017年12月16日 若者と企業の交流会	東京しごとセンター多摩	4社/23名 ※応募意向 1.8社/人	東京しごとセンター多摩との共催
3	2018年1月24日 若者と企業の交流会byバス	訪問企業先	3社/19名 ※応募意向 0.8社/人	東京しごとセンター多摩との共催

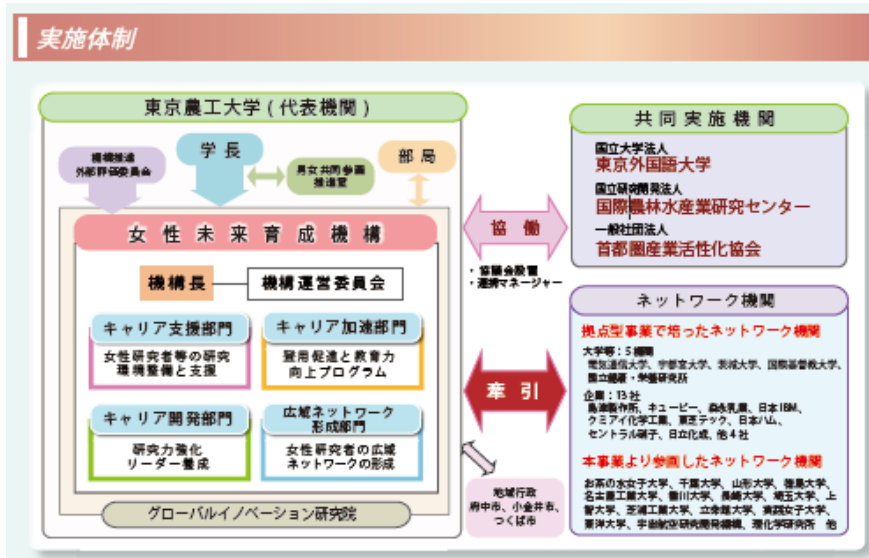
II ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

女性研究者のライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や研究力向上のための取組及び上位職への積極登用に向けた取組を支援するため、文部科学省・JSTの「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業」を行っています。

「女性研究者の活躍推進を実現する”関東プラットフォーム”の創生と全国展開」をテーマとしています。

1. 事業スキーム

首都圏産業活性化協会は、共同実施機関として東京農工大学、東京外国語大学、国際農林水産業研究センターと連携して事業を実施しています。



取組1、女性研究者ネットワークを牽引し、拡大(関東から全国へ)

- (1) 中小企業ネットワークを活用し、事業の取組と女性研究者のイベント・セミナー情報を協会会員へ配信。
- (2) 従前より協会と関わりのある埼玉大学、実践女子大学、東洋大学が新たにネットワーク機関に参画。

取組2、機関連携により共同運営する女性研究者サポートシステム

- (1) ダイバーシティ・セミナー

開催日時：平成29年10月6日(金)

開催会場：中野サンプラザ 13階スカイルーム

内容：近年の法改正/「働き方改革」への取組等

講師：株式会社 オフィス フローラン代表、社会保険労務士 新井 淳子様

取組3、グローバル化により研究力を強化し、女性幹部登用を推進

- (1) 女性研究者による研究シーズ発表会とポスター展示 (技術連携交流会同日開催)

開催日時：平成29年10月6日(金)

開催会場：中野サンプラザ 13階スカイルーム

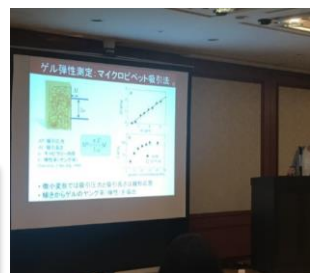
「食に関するシーズ」

- 国際農林水産業研究センター 姜 奉廷 研究員
- 東京農工大学 井上 真紀 先生

「医療・高齢化に関するシーズ」

- 東京農工大学 柳澤 実穂 先生
- 芝浦工業大学 菅谷 みどり 先生
- 東京外国語大学 合地 幸子 氏
- 上智大学 高岡 詠子 先生

参加者数：58人(内 企業 41人)



(2) 女性研究者シーズ集改訂版作成

掲載：11大学 1機関 計72シーズ

研究分野：14野

安全安心、医療・福祉、エネルギー、環境、計測制御、資源・材料、情報・通信、デザイン、ナノ・マイクロ、農林水産、バイオ、生活科学、地域経済、その他

(3) 女性研究者による講演

- ・医療イノベーションフォーラム

開催日時：平成29年7月26日（水）

開催会場：八王子TCビル

講師：東京農工大 工学研究院 機械システム工学部門・准教授 ベンチャー・ジェンチャン先生
上智大学 理工学部 情報理工学科 准教授 藤井 麻美子 先生

- ・医療イノベーションフォーラム

開催日時：平成29年9月29日（水）

開催会場：八王子TCビル

講師：首都大学東京 システムデザイン学部 知能機械システムコース 准教授 三好 洋美先生
茨浦工業大学 システム理工学部 生命科学科 助教 中村 奈緒子先生



大学との連携事業

1. PBL(Project Based Learning)コーディネート

PBL（Problem Based Learning）は、学生自らが、企業の現実的な課題を発見し、企業担当者の協力や学生チームの力によって、課題解決の提案を行います。具体的には、企業へのヒアリングのほか、調査、実験等、企業活動の一部を、半年から一年の期間をかけて学生が体験します。

当協会では、企業の参加誘導、プロジェクト開始後に企業を訪問し、途中経過や課題のヒアリングを実施することで、事業が円滑に進むためのサポートを行いました。終了後も同様にヒアリングを実施し、良かった点、改善点等、企業・学生からの感想を吸い上げ、大学への報告と翌年度の実施に向けた提案を行いました。



【首都大学東京PBL 最終発表会】

首都大学東京PBLは11年目の事業であり、地域企業と首都大学東京の先生方との連携を築く良いきっかけとして、評価されています。今後も継続的に実施し新たな連携の創出に努めていきます。

- ◆首都大学東京
 - ・参加学生数：40人
 - ・参加企業数：6社（ニシハラ理工(株)、(有)ベスト青梅、(株)クレアンスメアード、(株)富士フィルムメディアクレスト、杉並電機(株)、(株)電子制御国際
 - ・中間報告会：平成29年6月30日（金）開催
 - ・最終発表会：平成29年9月28日（木）開催

平成29年度の事業による効果

PBLテーマに掲げた「IoT」は企業の関心が高く、新しい情報や知見について意見交換ができた事で今までと異なる視点で自社を客観的に見直せたというご意見頂いています。

2. シュタインバイス大学 日本研修プログラム支援事業

シュタインバイス大学、東京農工大学、東京工業大学、横浜国立大学、TAMA協会が連携し、日独の大学院生による合同の研修プログラムを実施しました。

日本学生は4日間の事前研修（講義・企業訪問）を受講。その後ドイツ学生と合流し、日独混合チームで中小企業から提供された欧州での販路開拓における具体的な課題に1週間取組み、ビジネスプランの提案（発表会）を行う研修プログラムです。

【平成29年度の参加実績】

企業：3社
 ((株)朝日ラバー、綜研化学(株)、(株)ミズキ)
 学生：60名（シュタインバイス大学：独）
 36名（東京農工大学、東京工業大学、
 横浜国立大学：日）



【シュタインバイス大学】

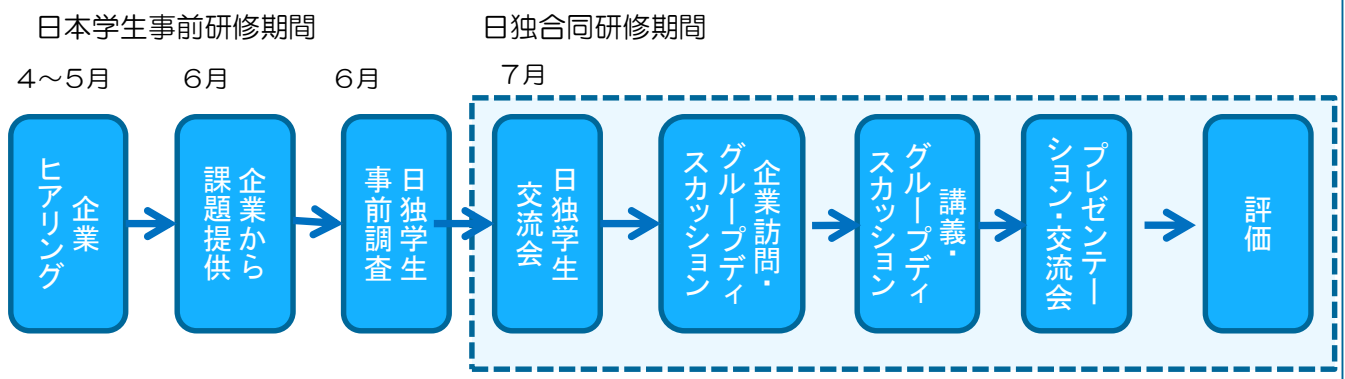


■設立：1998年10月
 ■学長：ヨハン・レーン
 ■構成：1学部、2大学院、教員数672名、
 学生数3,000名、
 その他修了証授与コース

■特徴：

1. 法人は有限責任会社(SHB BmbH)
2. 顧客第一主義で大学組織への公的機関の財政支援なしに運営している。
3. 企業の要請に基づく人材育成のために、学生を現実のプログラムに参加させながら実践的な教育を展開。
4. 座学と実践を同時に学ぶ事が出来る。
5. 就職率はほぼ100%。
6. 大学院に、MBE、MBA等、博士課程がある。
7. 独自の学位授与権を公認されたドイツの有力私立大学

プログラムの流れ



参加企業のメリット

- ①グローバルな視点での自社評価（分析）ができます。
- ②ドイツにおける詳細な市場分析から販路開拓の課題解決に向けたビジネスプラン案を入手できます。
- ③ドイツ学生との交流により、社員のグローバル意識が芽生え、職場の活性化につながります。



各種計画策定支援

1. 活動概要

本業の成長計画である「経営力向上計画書」、新分野への進出計画である「経営革新計画書」の作成支援をTAMAコーディネータが行いました、

今後の計画に沿った活用可能性のある公的補助金などを紹介し、必要に応じて申請支援も行いました。

2. 具体的な支援内容

- 経営力向上計画書作成
(メリット) 設備投資時の税金優遇措置、低金利融資や保証枠拡大、固定資産税特例対応、各種補助金加算
- 経営革新計画書作成
(メリット) 設備投資時の税金優遇措置、信用保証協会の保証額拡大、低金利融資、都道府県の支援策活用(東京都の場合; 次世代イノベーション2020、受発注中小企業競争力強化支援事業助成金)
- 中期事業計画作成
- 補助金、助成金申請

3. 活動結果

- 経営力向上計画書作成・・・25件
- 経営革新計画書作成・・・25件
- 中期事業計画作成・・・2件
- 平成29年度補正「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金」申請・・・28件
- 平成30年度「受注型中小企業競争力強化支援事業」申請・・・2件

Winning
Topic

日本が誇る小さな大企業「スモール・ジャイアンツ」



「大企業」の「大」は、売り上げ、利益、従業員数という規模の「大」。しかし、規模は小さくても影響力や地域貢献の大きさが「大」の会社もあるはず。

ForbesJapanでは、そのような企業を「スモール・ジャイアンツ」と名付け、消費者の心を鷲掴みにしたアイデア、価値観、仕組み、技術。そんな価値ある企業を探して表彰するアワードを新設しました。

「スモール・ジャイアンツアワード」は、創業10年以上、売上高100億円未満の価値ある企業をアドバイザーボード12組の協力のもと、全国から250社を選出。「カッティング・エッジ」「ローカル・ヒーロー」「グローバル」「セカンド・ローンチ」「ベスト・エンゲージメント」の5つのカテゴリーごとに表彰企業を決定。

「グローバル」部門では、会員企業のビー・アンド・プラスが受賞しました。

このほか「注目の小さな大企業11選」の「ベスト・エンゲージメント」として武州工業、エリオクスが選定されました。



情報ネットワーク事業

I ホームページによる情報提供

協会会員の企業・大学・支援機関のホームページを横断的に検索可能なカスタム検索エンジン、協会が発行する冊子の電子ブック版などを掲載しています。

トップページ (<http://www.tamaweb.or.jp/>)



電子ブックページ (<https://tamaweb.e-manager.jp/>)



会員情報クロス検索
TAMA会員企業、大学のホームページに掲載されている製品情報、研究情報等をクロス検索可能。

電子ブック・資料
事業のあらし、企業のコア製品・技術がひとめでわかる「製品・技術PRレポート」、大学のシーズや企業との連携希望内容をまとめた「大学技術工房」など、協会発行資料を電子ブックで掲載。スマホからも閲覧可能です(専用アプリダウンロード)。

II 情報別メーリングリストの運用による効果的な情報提供

協会支援メニューや主催事業だけでなく、国・都県や支援機関等の補助金情報や支援施策・セミナー情報、官公庁などが発表する統計情報やニュース、また会員からの情報をタイムリーに発信しています。

メーリングリストアドレス: tama-gyousei@tamaweb.jp

※セミナー情報など発信を希望する場合は、事務局へ。

III データベースの整備とコーディネート活動支援システム

各種データベースシステム及び情報検索エンジンを整備し、会員企業の産学・企業間連携を促進しています。また、TAMAコーディネータ及び事務局による企業訪問を通じて蓄積された情報に加えて、各種データベース等支援ツールを充実させ、コーディネート活動を効果的、効率的に行うため、「コーディネート活動支援システム」を構築しています。

データベース・検索エンジン	内 容
会員一覧	TAMA協会会員の企業・団体様を掲載
TAMAバーチャルラボラトリーシステム	TAMA地域の大学・大企業等に整備されている開放又は受託等の形態で利用可能な試験研究・生産設備を登録し、利用を促進するデータベース
TAMAコーディネータデータベース	TAMAコーディネータについて検索・閲覧できるデータベース
企業カルテデータベース (非公開)	企業カルテを分類、類似の事例を検索し、蓄積したノウハウを活用できるデータベース

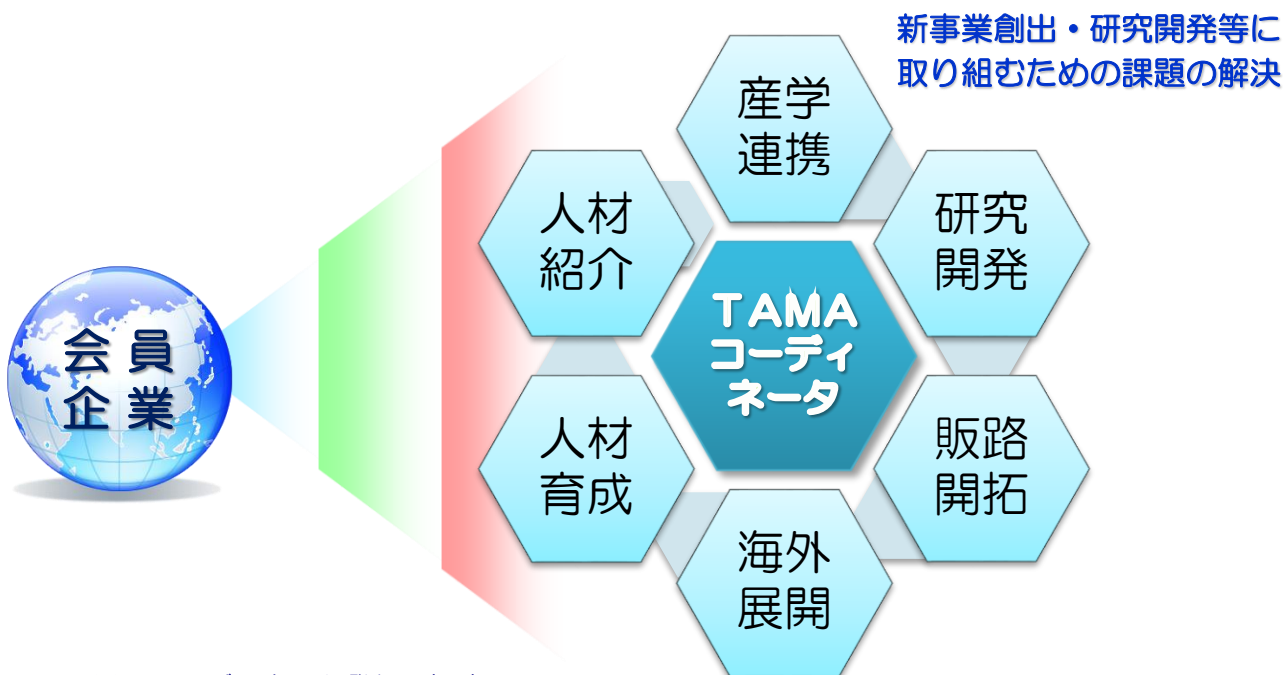
IV TAMAコーディネータ制度

TAMA協会では、中小企業診断士、技術士、弁理士、公認会計士、税理士、社会保険労務士ほか、大手企業OBなど多様なスキルをもつ約110名の専門家を「TAMAコーディネータ」として組織化しています。

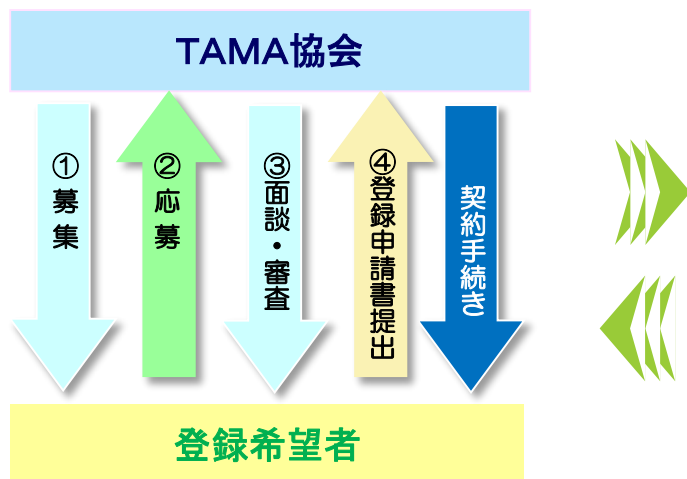
TAMAコーディネータは、企業の課題解決や競争力向上のため、様々な個別支援を行うほか、協会のスタッフとして、事業プログラムの企画や進行管理、調査事業の推進、協会主催のセミナー講師など、会員へのサービス提供のため、事務局とともに幅広く活躍しています。

<支援例>

- 産学・産産連携のコーディネート
- 共同研究プロジェクトの支援
- 海外展開の支援
- ビジネスプラン・経営戦略構築支援
- 各種の経営課題の解決支援



TAMAコーディネータ登録の概略



コーディネーター保有資格

資格
中小企業診断士
技術士
弁理士
公認会計士・税理士
ITコーディネータ
社労士、経営士、その他

平成30年度の取り組み

TAMAのネットワークや事業プログラムを効果的に活用し、実践的な支援活動ができるコーディネータネットワークを強化していきます。コーディネーターの得意分野の目利きと、育成も視野にチャレンジする企業の支援を充実していきます。

地域交流会の開催

TOKYOイノベーションフォーラム・南西フォーラム

地域で活躍する会員間のコミュニケーションの促進のため、フェイス・トゥ・フェイスで産・学・官・金融などのメンバーが幅広くフランクに交流できる地域交流会の活動を推進しています。

『TOKYOイノベーションフォーラム』『首都圏南西地域産業活性化フォーラム（南西フォーラム）』で産産連携、産学連携、異業種交流をテーマに、熱気あふれる交流会が開催されています。

◆TOKYOイノベーションフォーラム(H23.7～)

地域の多様な課題を情報共有し、地域のリソースの活用や連携により、地域の活性化を行うことをコンセプトとした、異業種交流会形式のフォーラムです。

◆平成29年度の取り組み

第117回

テーマ：民泊ビジネスの現状と今後を考える ～民泊新法成立と2020年に向けて～

開催日：平成29年9月1日（金） 開催会場：西武信用金庫本店

講演：楽天LIFULL STAY株式会社 事業戦略室 室長 齋藤 恵亮氏

株式会社TAROコーポレーション 代表取締役 児山 秀幸氏

◆首都圏南西地域産業活性化フォーラム(南西フォーラム)(H16.6～)

地域における企業・大学・支援機関・行政機関などが一堂に集い、中小企業の皆様の新技術・新製品開発や

新分野への進出などにつながる新たな連携を生み出すための交流会です。

◆平成29年度の取り組み

第38回

テーマ：インダストリー4.0への挑戦！！～ロボットを活用した地方創生～

開催日：平成29年5月25日（木）

開催会場：サン・エールさがみはら ホール

※関東財務局横浜財務事務所との共催により、「地域経済活性化フォーラムin相模原」として実施。

講演：

- 「今後の地方創生を担う独立拠点都市（ローカルハブ）とは」

株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部長兼公共プロジェクト室長
主席研究員 神尾 文彦氏

- 「ロボットビジネスによる地方創生のモデルケースとしての相模原の可能性」

東京大学 名誉教授 佐藤 知正氏

- 「生産効率2.5倍、受注増加をもたらしたロボット溶接システムの導入」

株式会社第五電子工業

- 株式会社広和産業・大沢工業株式会社（システムインテグレータ）

「ロボット導入の成果は品質向上と社員のカイゼンに対する意識改革」

第39回

テーマ：「業種も規模も関係ない！今日からできる！！“IoT”ははじめの一步」

開催日：平成29年11月8日（水）

開催会場：青山学院大学 相模原キャンパス

モデレーター：青山学院大学理工学部経営システム工学科 教授 松本 俊之氏

講演：

- 「安い！早い！簡単！常識外れのIoTモニタリングサービスができた理由（ワケ）」

旭鉄工株式会社/iSmart Technologies株式会社 代表取締役社長 木村 哲也氏

- 「かしこい金型研究会の取り組み ～センサー活用で新たに付加価値の創出！！」

株式会社クライムエヌシーデー 代表取締役社長 高橋 啓太氏

地域との交流

首都圏西部地域をはじめ、産業振興を行う全国の地域・団体、海外クラスター団体等との連携事業や各種委員への就任・視察や講演依頼をお受けしています。今後も、国内外における産業支援機関との交流を図り、情報交換を通じ地域を超えた充実したネットワーク形成を目指していきます。

I 自治体等との連携

1. 地域内事業

地域・団体	事業名	事業内容
八王子市	八王子市海外経済交流促進事業	八王子市内中小企業と台湾企業との交流・連携等を支援し、台湾への販路拡大につなげるために、台湾ビジネス研究会を開催し、現地での展示会出展及び商談会を行いました。
青梅市	青梅市女性の再就職・若年者就職アシスト事業	青梅市内在住の女性・若者の就職支援プログラムの策定サポートを行い、青梅市企業を中心とした企業とのマッチングを行いました。
日野市	企業の魅力発信・連携促進事業	日野市内企業の製品・技術PRレポートを専門家指導のもと作成し、日野市内大学シーズ集と合わせた日野市「企業の魅力PRレポート」を発行しました。
羽村市	製造業営業力・生産力等強化支援事業	羽村市における産業振興事業の効果を向上させるために、企業支援ノウハウを承継するための企業カルテシステムの仕組みを更新するとともに、次世代の経営者、経営幹部が、経営について学ぶセミナーを行いました。
狭山 商工会議所	産学連携・特許情報活用 アドバイザー業務	インキュベーション施設入居企業をはじめ、市内企業の産学連携、特許情報の活用に関する情報提供、効果的なアドバイスを実施するため、専門家を派遣しました。

2. 地域外事業

地域・団体	事業名	事業内容
青森県	県外企業との技術マッチング・連携強化業務	広域的な産学官金のネットワーク支援の強化を図り、研究開発型企業や海外展開を目指す企業を育成するため、事業性の判断や事業化に向けたアドバイス、首都圏企業や海外企業等とのマッチングや販路開拓の支援を行いました。
南アルプス 市商工会	製造業取引創出企業PRガイド 作成支援事業	南アルプス市内企業の製品・技術PRレポートを専門家指導のもと作成しました。
	製造業取引における発注者ニーズ調査事業	中小・零細製造業事業者の新たな取引創出を目的に、大手・中堅製造業企業に対して、新規取引にあたっての取引要求事項、加工技術などについての調査・分析を行いました。

II 国内支援機関等との交流

地域・団体	交流内容
神奈川県	重点プロジェクト支援委員会委員
八王子市	産業振興会議委員、八王子市産業支援機関連絡会議参加
羽村市、福生市	羽村産業振興懇談会オブザーバー委員
芝浦工業大学	COC事業外部評価委員会
公益社団法人八王子観光コンベンション協会	MICE委員会委員
公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会	いわき地域ものづくり産業広域支援ネットワーク会議参加
首都圏南西地域産業活性化フォーラム	首都圏南西地域産業活性化フォーラム運営委員・企画部会委員
全国イノベーション推進機関ネットワーク	全国イノベーション推進機関ネットワーク運営委員
株式会社ナインシグマ・ジャパン	地域中核企業創出・支援事業（精密計測・微細加工分野の中核企業創出・支援ネットワーク構築事業）支援者連絡会議委員

20周年記念式典事業

I 設立20周年記念式典開催

当協会は、1998年4月に任意団体「TAMA産業活性化協議会」として設立され、2001年4月の社団法人化、2010年4月の一般社団法人化を経て、本年（2018年）、設立20周年を迎えることが出来ました。設立20周年を迎える道のりは、決して平坦ではなく、組織の在り方と業務運営面で綻びも露呈したこともありましたが、協会会員だけでなく、協会設立にご尽力された方々、関係機関の方々に多大なるご支援を頂き、ようやく20周年を迎えることが出来ました。

2018年1月30日には、設立20周年記念式典を、200人を超える会員・関係者の皆様にお集まりいただき、盛大に開催することができました。ご協力・ご協賛いただきました皆様には改めて感謝申し上げます。

1. 設立20周年記念式典・平成30年賀詞交歓会

■ 設立20周年記念式典

【開催日時】平成30年1月30日（火）16時00分～18時30分

【開催会場】京王プラザホテル八王子 4階「宴の間」

【次第】○主催者挨拶 ○来賓挨拶 ○来賓紹介 ○祝電披露 ○パネルディスカッション
○功労者表彰 ○TAMA-GNT企業発表

◆ 功労者表彰受賞者

(1) TAMA協会の副会長として通算3期以上その任にあった者

●相模原商工会議所 会頭（当時） 河本 洋次様
（平成14年度～23年度まで5期理事、平成12年度～13年度まで監事）

●シグマ光機株式会社 相談役（当時） 杉山 茂樹様
（平成14年度～19年度まで3期理事、平成10年度～13年度まで監事）

(2) TAMA協会の理事として通算6期以上その任にあった者

●タマティーエルオー株式会社 取締役会長 井深 丹様
（平成10年度～24年度まで7.5期専務理事）

●株式会社東洋ボデー 代表取締役社長 中條 守康様
（平成12年度～23年度まで6期、平成24年度～参与）

●東洋システム株式会社 代表取締役社長 飯田 哲郎様
（平成12年度～23年度まで6期、平成24年度～27年度まで副会長）

●古川 勇二様 （平成10年度～24年度まで7.5期会長）

一般社団法人首都圏産業活性化協会
設立20周年記念式典・平成30年賀詞交歓会

日程
平成30年1月30日（火）
16時00分～（記念式典）
18時40分～（賀詞交歓会・懇親会）

会場
京王プラザホテル八王子
宴（記念式典）、翔王（賀詞交歓会・懇親会）

参加費：10,000円

20周年記念式典
●ご挨拶
●パネルディスカッション
「変革の時代へのヒント
- 第四次産業革命を読み解く -」
●功労者表彰 ●TAMA-GNT企業発表

賀詞交歓会（懇親会） 会員様の関係なく、誰でものご参加が歓迎されます！

〒201-8501 東京都八王子市八王子1-1-1 八王子プラザビル
TEL 0426-24-1111 FAX 0426-24-1112
URL www.tamaweb.or.jp Mail info@tamaweb.or.jp



■ 平成30年度賀詞交歓会・懇親会

【開催日時】平成30年1月30日（火）18時40分～20時00分

【開催会場】京王プラザホテル八王子 5階「翔王の間」

【次第】○主催者挨拶 ○来賓挨拶 ○来賓紹介 ○新会員ご紹介 ○乾杯挨拶 ○抽選会

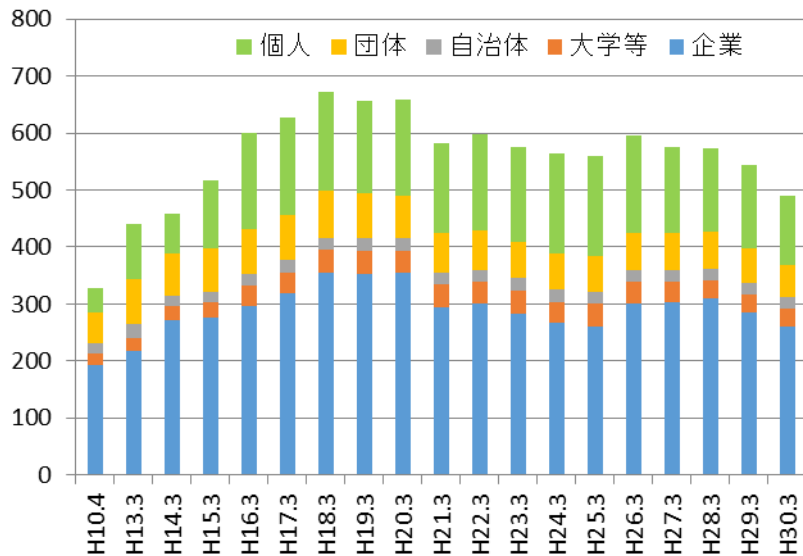


データで見るTAMAの軌跡と現状

平成29年度は、総体として昨年度末より会員減となり、企業会員数は昨年度の286社から260社へと減少しています。

引き続き、協会の活性化、地域の発展のため、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

1. 会員数の推移（平成10年度～平成29年度）

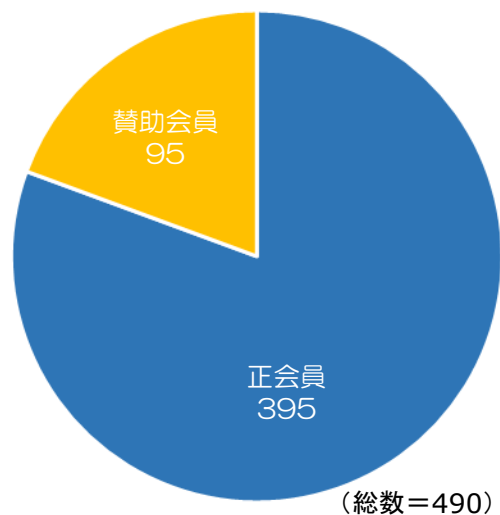


TAMA産業活性化協議会設立

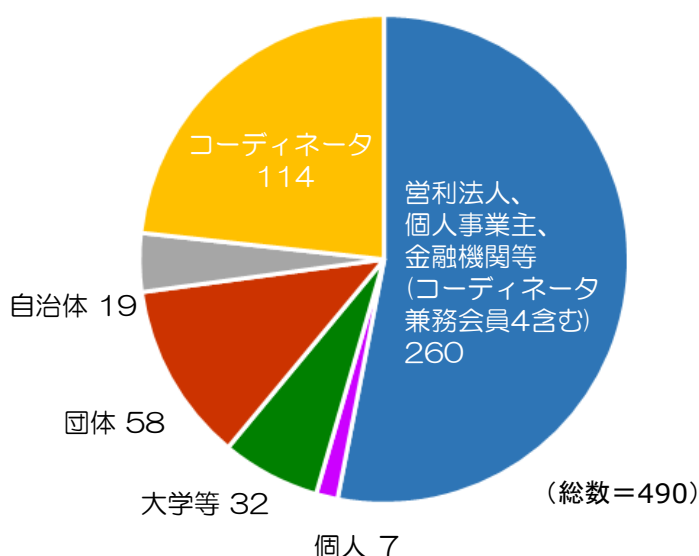
会員数	
平成10年4月	328
平成13年3月	440
平成14年3月	447
平成15年3月	517
平成16年3月	599
平成17年3月	629
平成18年3月	672
平成19年3月	656
平成20年3月	658
平成21年3月	578
平成22年3月	597
平成23年3月	576
平成24年3月	565
平成25年3月	560
平成26年3月	595
平成27年3月	576
平成28年3月	574
平成29年3月	543
平成30年3月	490

平成10年4月のTAMA産業活性化協議会設立時総会員数328（うち企業会員193社）でスタートし平成29年度末には総会員数490（うち企業会員260社）となっています。

2. 正/賛助会員の別（平成29年度末）



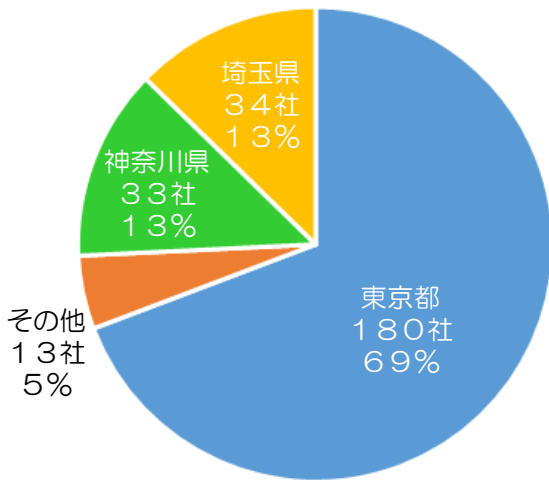
3. 会員の構成（平成29年度末）



企業会員を見ると、資本金3億円未満の中小企業が全体の約95%を占めています。その業種は製造業が全体の81.2%を占め、情報通信（IT）産業が6.9%、次いで、サービス業が6.2%、卸売・小売業が3.1%、金融・保険業が2.7%となっております。

今後もTAMAクラスター地域を中心に、更なる充実したネットワーク構築を目指します。

4. 都道府県別企業会員数 (平成29年度末)

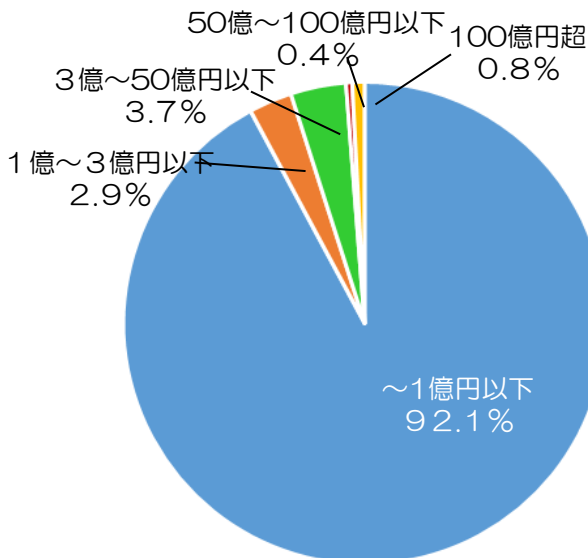


5. 市区町村別企業会員数 (トップテン:平成29年度末)

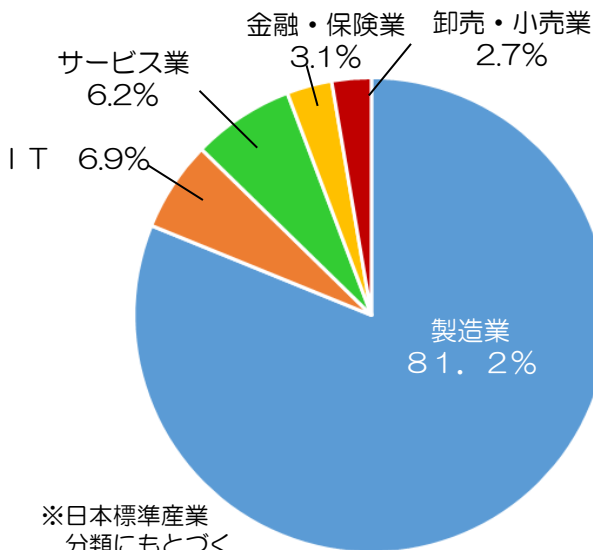
No.	市区町村	会員数
1	八王子市	29
2	青梅市	22
3	相模原市	20
4	羽村市	15
5	立川市	11
6	狭山市	10
7	昭島市	8
8	西多摩郡瑞穂町	7
8	千代田区	7
8	所沢市	7

※上位10市区町村での企業会員合計=136 (企業会員全体の52.3%)

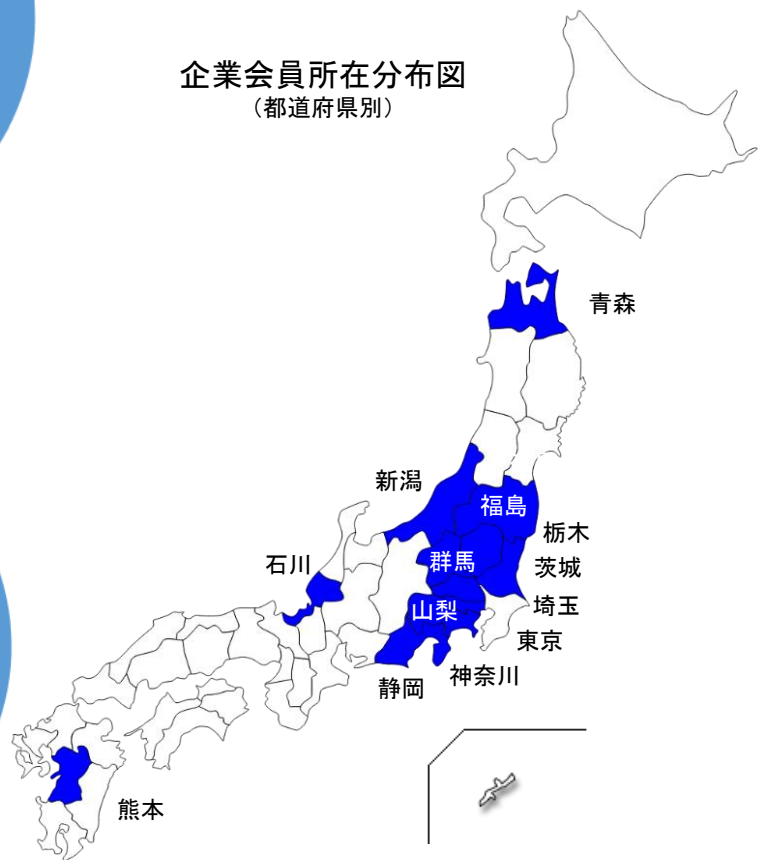
6. 企業会員分類(資本金別)



7. 企業会員分類 (業種別)



企業会員所在分布図 (都道府県別)



◎ 年 表 ◎

TAMA協会					
	全体事業 外部評価委員会・次期計画策 定委員会 TAMAブランド化推進事業	産学連携・研究開発 支援事業	販路開拓・海外展開 支援事業	人材育成・人材確保 支援事業	イベント事業・その他
4 月		21 鎌倉WG分科会(電通大)			
5 月	13 将来構想企画委員会 30 理事会① 30 TAMAブランド化推進事 業運営委員会	17 綿貫WG(埼玉大) 23 医療イノベーション フォーラム 26 鎌倉WG(電通大) 30 スマートなものづくりを 考える会	30 シュタインバイスキック オフ	12 首都大学PBL事業キッ クオフ	25 南西フォーラム 29 青梅線沿線クラスター協 議会
6 月	13 人材育成・販路開拓部会 13 総会	14 医療イノベ分科会 30 鎌倉WG分科会(電通 大)	21～23 機械要素技術展 27 台湾ビジネス研究会①	30 首都大学PBL事業中 間発表	
7 月	11 第四期5ヵ年外部評価委員 会	5 綿貫WG(埼玉大) 26 医療イノベーション フォーラム	13～21 シュタインバイス大 学日本研修		26 首都圏産業支援機関連 携会議 26 青梅線沿線クラスター協 議会事務局会議
8 月	1 人材育成・販路開拓部会 2 TAMAブランド化推進事業 運営委員会 23 産学連携・研究開発部会	2 産学官金サミット 22 医療イノベ分科会 25 鎌倉WG分科会(電通 大) 29 スマートなものづくりを 考える会			29 いわき地域ものづくり産 業広域支援ネットワーク会 議
9 月	21 第四期5ヵ年外部評価委員 会	7 SQOL新技術説明会 15 鎌倉WG(電通大) 28～30 台湾展示会 29 医療イノベーション フォーラム		6 企業交流会 28 首都大学PBL事業最 終発表会 29 ビジネスマナー研修	1 東京イノベーションフォー ラム 22 首都圏産業支援機関連 携推進会議
10 月	2 第四期5ヵ年計画外部評価 委員会 2 次期計画策定委員会・20 周年記念式典 実行委員会 13 理事会②	6 技術連携交流会 11 綿貫WG(埼玉大) 17 医療イノベ分科会 20 鎌倉WG分科会(電通大) 27 スマートなものづくりを考 える会	4 台湾ビジネス研究会② 12 中核事業・全体戦略会 議 24～25 あおもり産学官金 連携Day2017 25 社団法人台湾電子設備 協会受入	6 女性研究者による研究 シーズ発表会 28しごとセンター多摩合同 説明会	25 青梅線沿線クラスター協 議会事務局会議 31 八王子市産業振興会議
11 月	6 次期計画策定委員会・20周 年記念式典 実行委員会 24 TAMAブランド化推進事 業運営委員会	11 医療イノベ分科会 17 地域イノベ推進協議会 25 久保田WG(首都大)	1～2 台湾・商談会 2～6 台湾・展示会 20 台湾促進会来日アテン ド 23 ベトナムスタートアップ セミナー		2 ビジネスフェアfrom TAMA 8 南西フォーラム 30 首都圏産業支援機関連 携推進会議
12 月	4 将来構想企画委員会・合同 事業部会 15 次期計画策定委員会・20 周年記念式典実行委員会	1 鎌倉WG,分科会(電通 大) 6 綿貫WG(埼玉大) 14 医療イノベーション フォーラム		16 若者と企業の交流会	
1 月	30 理事会③ 30 20周年記念式典・賀詞交 歓会	11 医療イノベ分科会 18 綿貫WG(埼玉大) 26 鎌倉WG分科会(電通大)		24 若者と企業の交流会	24 青梅線沿線クラスター 協議会事務局会議 25 会報「つなぐWa」創刊号 発行
2 月	19 理事会④ 26 次期計画策定委員会・20 周年記念式典実行委員会	2 スマートなものづくりを考 える会 9 鎌倉WG(電通大) 15 地域イノベーションシン ポジウム2018in函館 28 綿貫WG,ロボット開発人 材育成実践セミナー(埼玉 大)	6～7 中核事業シンガポ ール視察① 8 台湾ビジネス研究会③ 16 青森県ものづくり補助 金活用セミナー 20～22 中核事業シンガ ポール視察② 22～23 第17回たま工業交 流展 26～3月2日 中核事業米 国視察	7 若者と企業の交流会 8 ダイバーシティ事業シン ポジウム	13 会報「つなぐWa」第2号 <号外>発行 23 全国イノベーション推進 機関ネットワーク運営委員 会
3 月	14 将来構想企画委員会・合 同事業部会	1 医療イノベーションフォー ラム 7 地域イノベシンポジウム 7 地域イノベ推進協議会 9 久保田WG(首都大) 14 綿貫WG(埼玉大) 27 鎌倉WG,分科会(電通 大)	6～10 中核事業ドイツ視察		25 会報「つなぐWa」第3号 発行

第一期 1998年（平成10年）～2002年（平成14年）

ネットワーク形成 インフラの整備を辻田産学官金ネットワークの構築

1998年（平成10年）設立

4月 関東経済産業局の協力を得て、地域の企業、大学、自治体、商工団体により、任意団体「TAMA産業活性化協議会」が設立。

当初の事務所は、八王子商工会議所の一角を借用してのスタートであった。

2000年（平成12年）事務所移転

事務所を三鷹産業プラザへ移転。

2001年（平成13年）社団法人化、事務所移転

4月 TAMA産業活性化協議会解散。経済産業省の許可を受け、社団法人首都圏産業活性化協会を設立。事務所を八王子スクエアビルへ移転。

2002年（平成14年）コーディネーター制度やネットワークによるプラットフォームを構築



第二期 2003年（平成15年）～2007年（平成19年）

研究開発・新事業創出

産学・産産連携の促進と連携による新技術・新製品の開発新事業の創出

2003年（平成15年）ベンチャー基金設立

2004年・2005年（平成16年・17年）海外クラスターとの交流開始

2006年（平成18年）次世代経営者育成・若者ネットワークを構築

2007年（平成19年）大手企業と中小企業の技術連携交流会開始

第三期 2008年（平成20年）～2012年（平成24年）

環境ものづくり 環境と調和し環境と共生する「ものづくりクラスター」として世界ブランド化をめざす

2008年（平成20年）設立10周年、環境ものづくり支援事業・産学官金サミット開始

2009年（平成21年）環境ものづくり大賞創設・海外展開支援の強化

2010年（平成22年）一般社団法人化、首都圏西部地域広域基本計画策定

1都2県35市4町1村による広域協議会を設置し、地域での産業集積活性化を支援。

2011年（平成23年）地域イノベーション戦略推進地域に選定

「首都圏西部SQOL(Smart Quality of Life)技術開発地域」として選定される。

第四期 2013年（平成25年）～2017年（平成29年）

TAMAエコクラスター 環境配慮ものづくりエコクラスター（環境調和・ビジネス調和）の実現をめざす

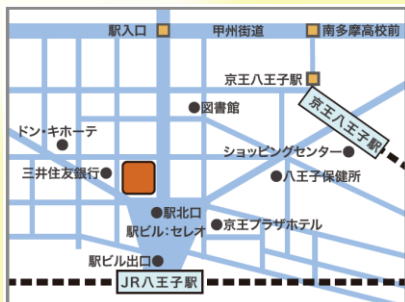
2013年（平成25年）TAMAブランド化推進事業、TAMAブランド企業認定開始

2015年（平成27年）人材確保・定着事業強化、中核企業創出支援事業の推進

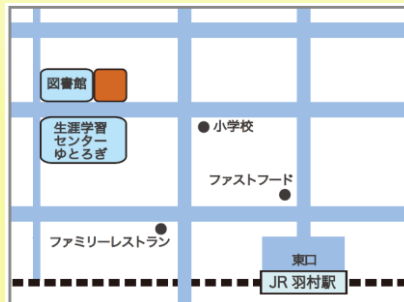
2017年（平成29年）先端ものづくり・IoT普及による中核企業創出支援

2018年（平成30年）設立20周年、第五期中期計画策定・開始（4月～）

八王子事務所



羽村サテライト



一般社団法人首都圏産業活性化協会 (TAMA協会)
Technology Advanced Metropolitan Area
<http://tamaweb.or.jp>

八王子事務所

〒192-0083 東京都八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11F
TEL : 042-631-1140 FAX : 042-631-1124

羽村サテライト

〒205-0003 東京都羽村市緑ヶ丘2丁目11-1 羽村市産業福祉センター内
TEL : 042-570-3481 FAX:042-570-3482